

第3次長久手市障害者基本計画および 長久手市第4期障害福祉計画についての アンケート調査結果報告書

平成 26 年 8 月

愛知県 長久手市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	2
2	調査概要.....	2
3	報告書の見方.....	3
II	調査結果.....	5
	調査票への記入.....	6
1.	あなたの性別・年齢・ご家族などについて.....	7
2.	あなたの障がいの状況について.....	12
3.	生活の支援について.....	15
4.	権利擁護について.....	28
5.	障害福祉サービスなどについて.....	29
6.	雇用・就労について.....	35
7.	地域社会とのかかわりについて.....	35
8.	災害への備えについて.....	39
9.	長久手市の障がい者施策について.....	41

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に「第 3 次長久手市障害者基本計画および長久手市第 4 期障害福祉計画」の策定を行うにあたり、長久手市の障がいのある人の実態を把握し、障害者基本計画および障害福祉計画の円滑な計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

1 調査方法

①調査地域

- ・長久手市全域

②調査対象者

- ・長久手市にお住まいで障がいに関する手帳をお持ちの方、障害福祉サービスを利用されている方、障害児通所支援を利用されている方 1,418 名

③調査期間

- ・平成 26 年 5 月 29 日（木）～6 月 30 日（月）まで

④調査方法

- ・調査票による本人記入方式
- ・郵送配布・郵送回収及び、直接配布・直接回収による調査方法

2 回収結果

	配布数	回収数	回収率
回収結果	1,418 件	757 件	53.4%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 図表中において回答0.0%について、表記はありません。

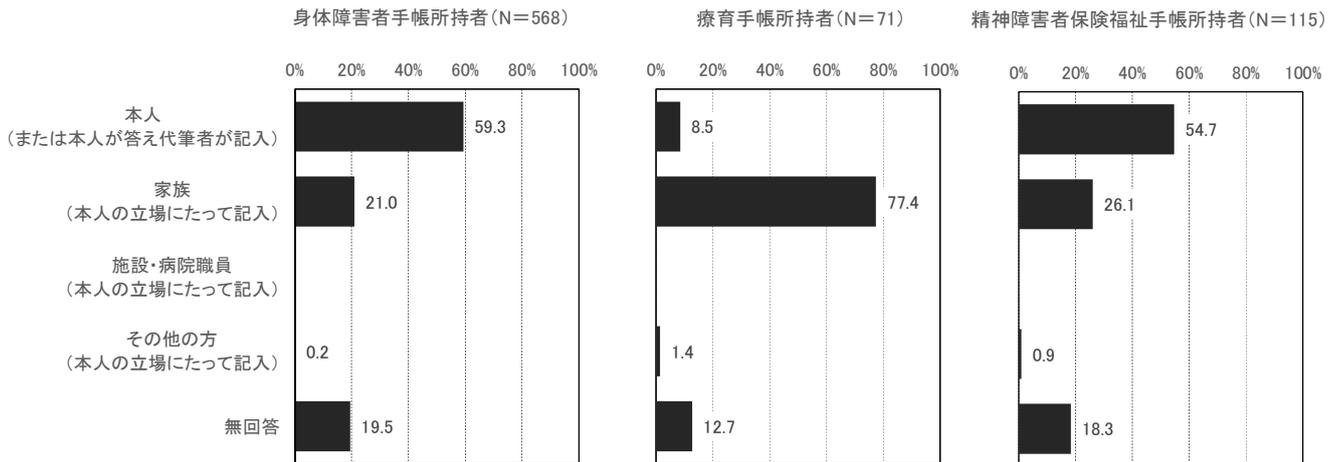
II 調査結果

調査票への記入

(1) お答えになるのは、どなたですか。

調査票の記入について、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「本人（または本人が答え代筆者が記入）」が59.3%、54.7%と最も高く、療育手帳所持者では「家族（本人の立場にたって記入）」が77.4%と最も高くなっています。

【問1】（単数回答）

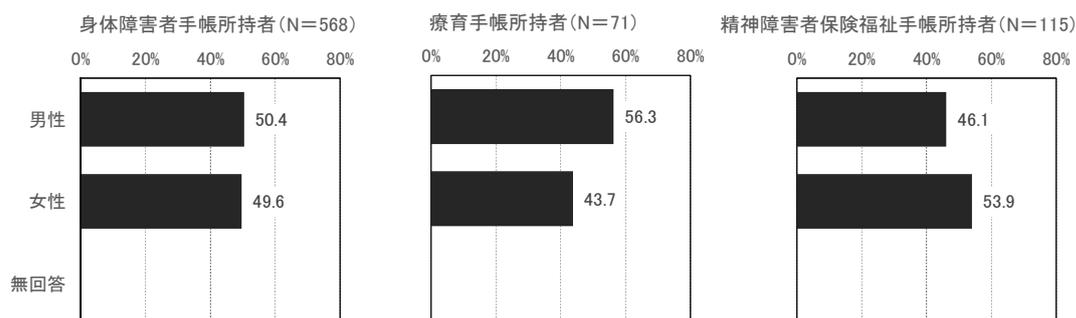


1. あなたの性別・年齢・家族などについて

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。

性別について、身体障害者手帳所持者では、「男性」が50.4%、「女性」が49.6%となっています。療育手帳所持者では、「男性」が56.3%、「女性」が43.7%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「男性」が46.1%、「女性」が53.9%となっています。

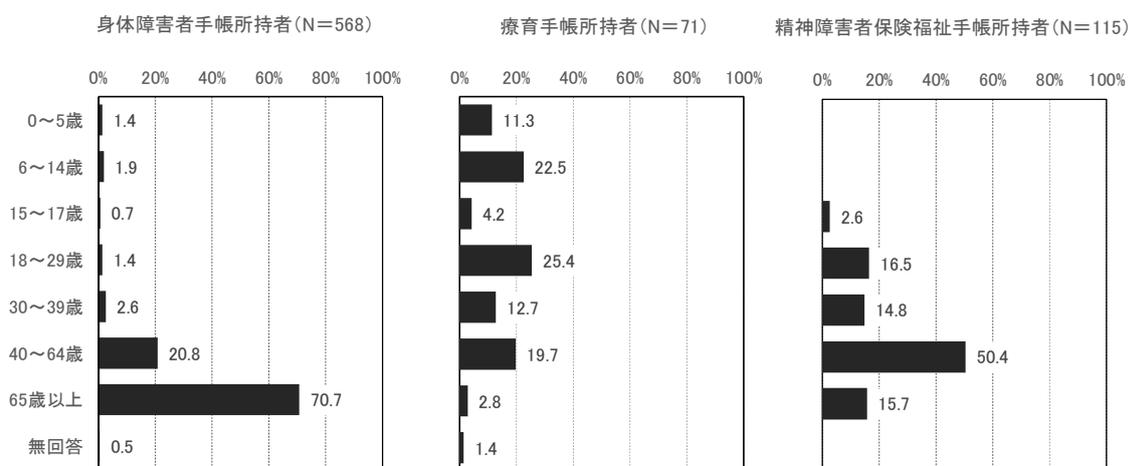
【問2】(単数回答)



(2) あなたの年齢（平成26年4月1日現在）を記入してください。

年齢について、身体障害者手帳所持者では、「65歳以上」が70.7%と最も高く、次いで「40～64歳」が20.8%と高くなっています。療育手帳所持者では、「18～29歳」が25.4%と最も高く、次いで「6～14歳」が22.5%と高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「40～64歳」が50.4%と最も高く、次いで「18～29歳」が16.5%と高くなっています。

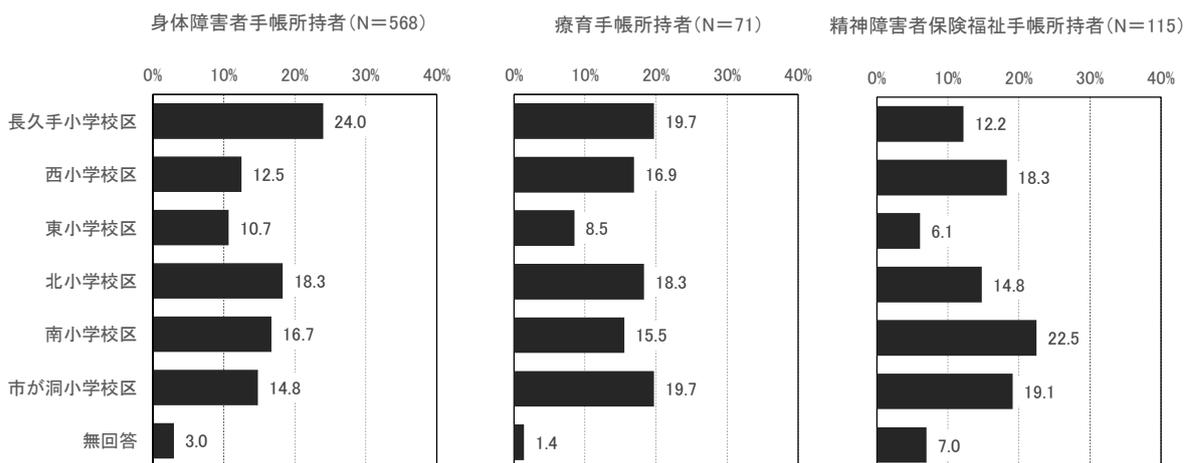
【問3】(数量回答)



(3) あなたの居住地は、次のうちどれですか。

居住地について、身体障害者手帳所持者では、「長久手小学校区」が24.0%と最も高く、次いで「北小学校区」が18.3%と高くなっています。療育手帳所持者では、「長久手小学校区」「市が洞小学校区」が19.7%と最も高く、次いで「北小学校区」が18.3%と高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「南小学校区」が22.5%と最も高く、次いで「市が洞小学校区」が19.1%と高くなっています。

【問4】(単数回答)

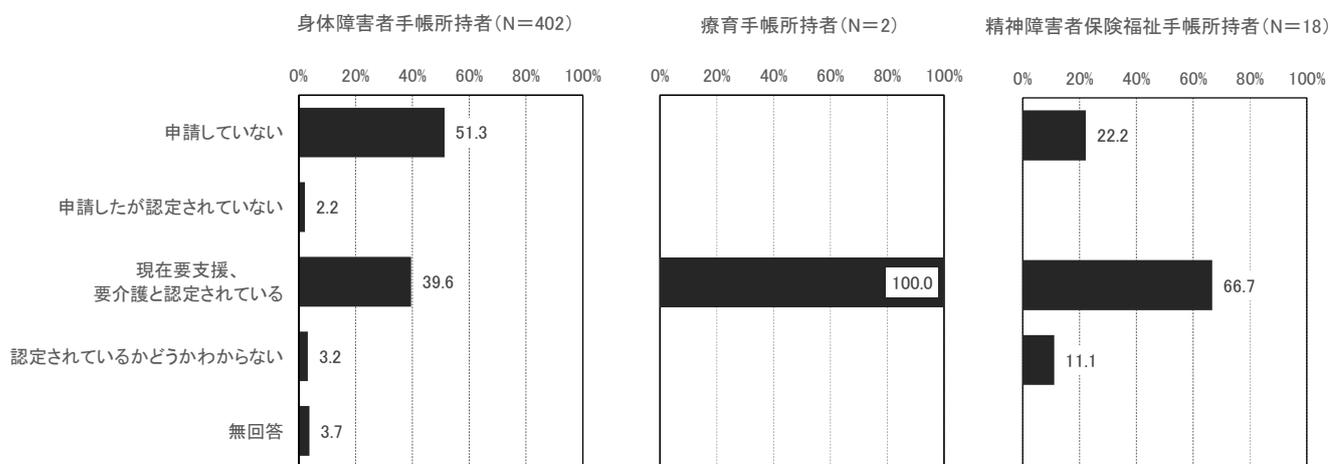


(4) あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。

※問3で「65歳以上」と答えた方のみへの質問

介護保険の要介護認定を受けているかについて、「受けている」は、身体障害者手帳所持者では39.6%、療育手帳所持者では100.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では66.7%となっています。

【問5】(単数回答)

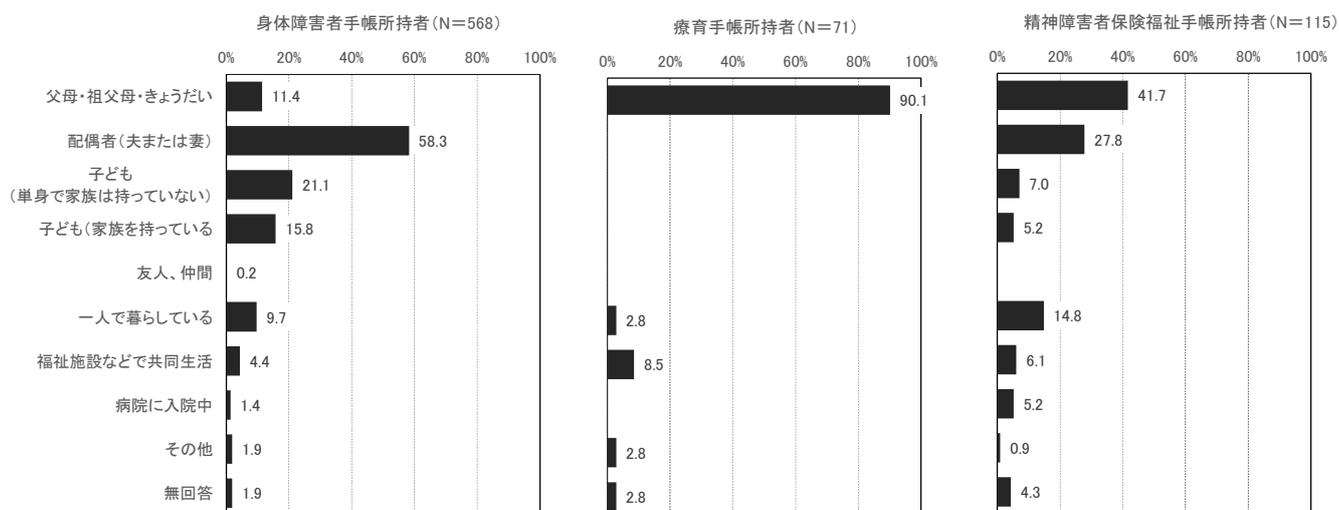


(5) 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。

一緒に暮らしている人の続柄について、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「父母・祖父母・きょうだい」が最も高く、特に療育手帳所持者では90.1%となっています。身体障害者手帳所持者では「配偶者（夫または妻）」が58.3%と最も高くなっています。

また、身体障害者手帳所持者では「子ども（単身で家族は持っていない）」が21.1%、療育手帳所持者では「福祉施設などで共同生活」が8.5%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「配偶者（夫または妻）」が27.8%と次いで高くなっています。

【問6】（複数回答）

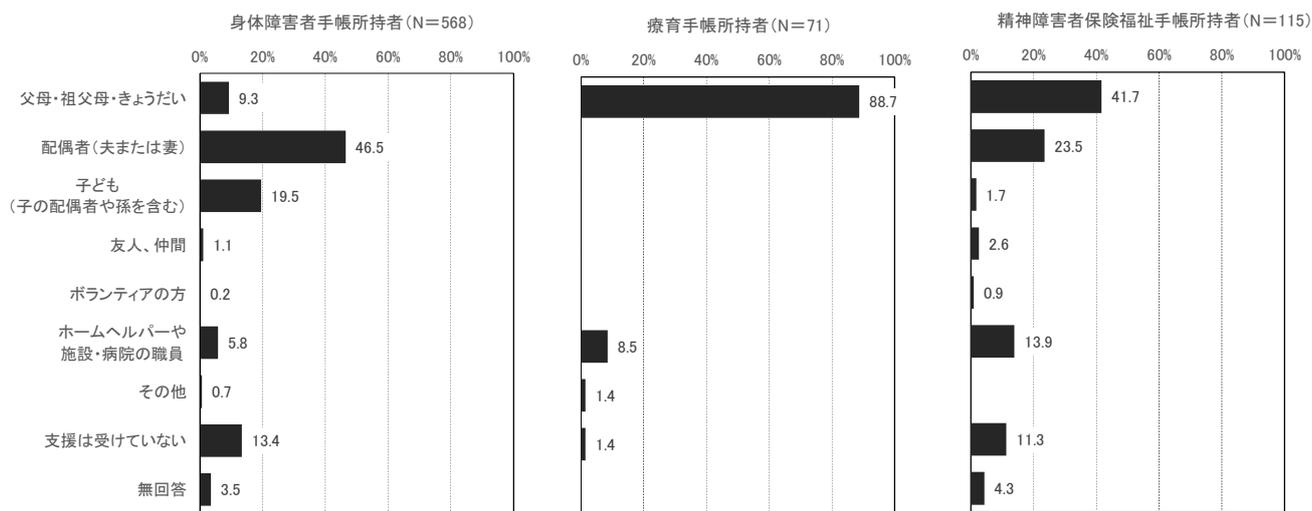


(6) 日頃、日常生活に支援が必要な場合、あなたを主に支援しているのはどなたですか。

日常生活に支援が必要な場合、主に援助・介助・介護をする方について、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「父母・祖父母・きょうだい」が最も高く、特に療育手帳所持者では88.7%となっています。

また、身体障害者手帳所持者では「配偶者（夫または妻）」が46.5%と最も高くなっています。

【問7】（単数回答）

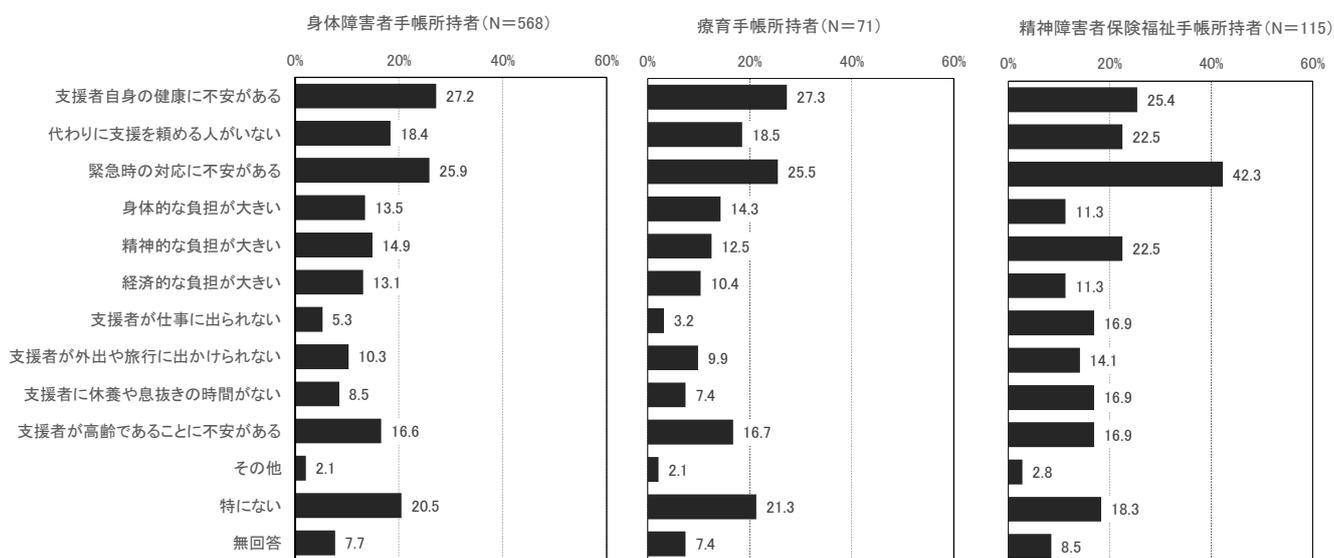


(7) あなたが支援について感じていることは何ですか。

支援について感じていることについて、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「支援者自身の健康に不安がある」が27.2%と27.3%で最も高くなっています。

また、精神障害者保健福祉手帳所持者では「緊急時の対応に不安がある」が42.3%と最も高くなっています。

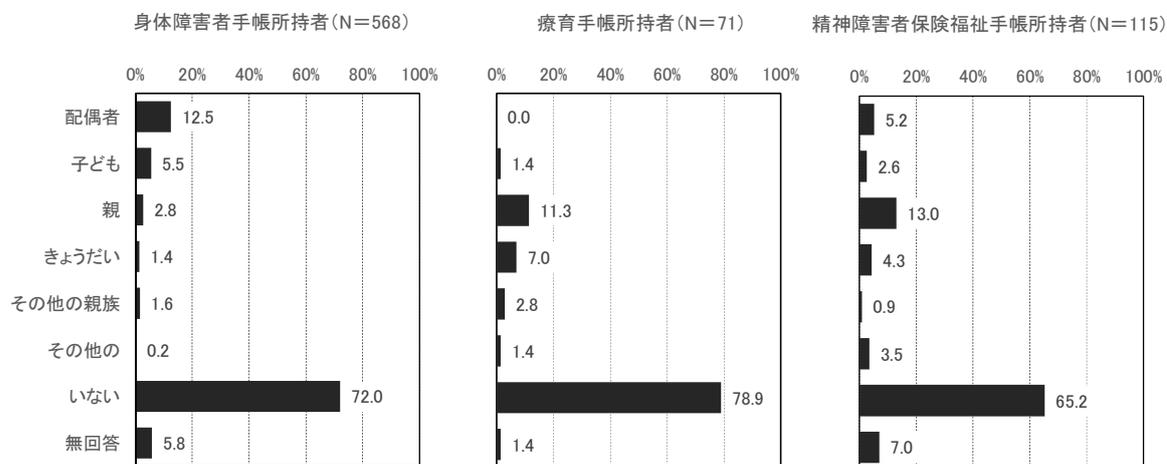
【問8】（複数回答）



(8) あなた以外の同居人で、支援を必要とする人がいますか。

自分以外の同居人で、支援を必要とする人がいるかについて、障がいの種別を問わず、「いない」が最も高く6割以上となっています。

【問9】(複数回答)



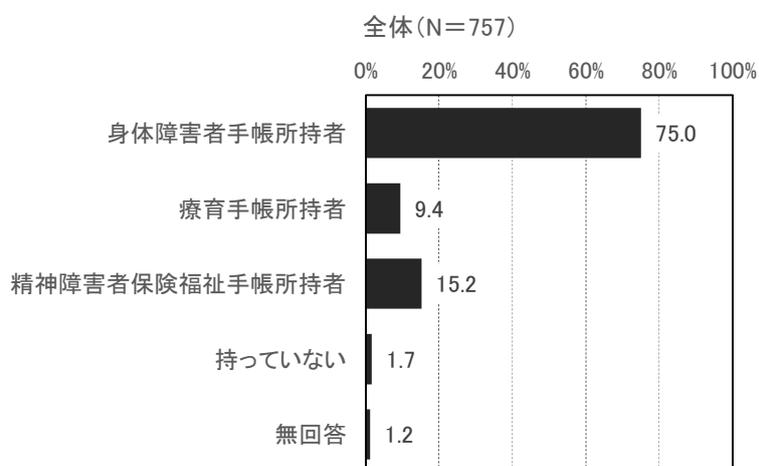
2. あなたの障がいの状況について

(1) あなたは、障害者手帳を持っていますか。

障害者手帳を持っているかについて、「身体障害者手帳」が75.0%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が15.2%となっています。

「身体障害者手帳」所持者の568人の中に、「療育手帳」所持者が10人、「精神障害者保健福祉手帳」所持者が6人みえます。また、「療育手帳」所持者の61名の中に、「精神障害者保健福祉手帳」所持者が3人みえます。従って、「身体障害者手帳」所持者は568人、「療育手帳」所持者は71人、「精神障害者保健福祉手帳」所持者は115人となります。

【問10】（複数回答）



障害者手帳所持者数

	身体障害者手帳	身体障害者手帳療育手帳	精神障害者保健福祉手帳 身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳 療育手帳	計
身体障害者手帳	568				568
療育手帳	61	10			71
精神障害者保健福祉手帳	106		6	3	115
持っていない	13				13
無回答	9				9
計	757	10	6	3	776

(2) 障害者手帳の等級は何ですか。

身体障害者手帳の等級について、身体障害者手帳所持者では「1級」が27.5%と最も高く、次いで「4級」が26.1%と高くなっています。

療育手帳所持者では「A判定」が42.3%で最も高く、次いで「B判定」「C判定」が28.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳所持者では「2級」が66.1%で最も高く、次いで「3級」が27.0%となっています。

【問10】(単数回答)

障害者手帳		等級							
1	身体障害者手帳所持者	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無回答
		27.5	13.2	20.6	26.1	7.0	4.2		1.4
2	療育手帳所持者	A	B	C	無回答				
		42.3	28.2	28.2	1.4				
3	精神障害者保健福祉手帳所持者	1級	2級	3級	無回答				
		4.3	66.1	27.0	2.6				

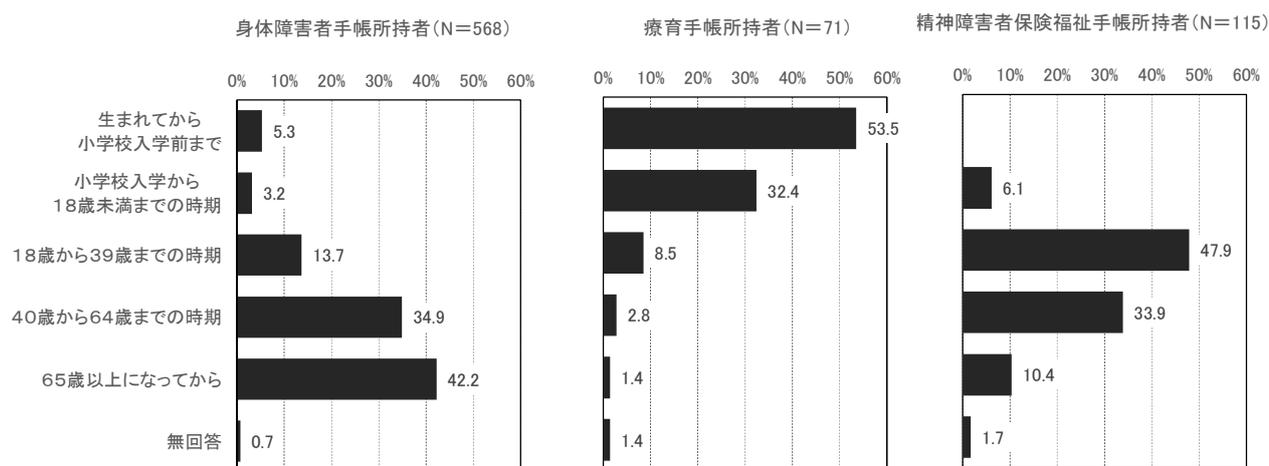
(3) 手帳をはじめて交付されたのはいつですか。

障害者手帳の交付について、身体障害者手帳所持者では「65歳以上になってから」が42.2%と最も高く、次いで「40歳から64歳までの時期」が34.9%となっています。

療育手帳所持者では「生まれてから小学校入学前まで」が53.5%で最も高く、次いで「小学校入学から18歳未満までの時期」が32.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳所持者では「18歳から39歳までの時期」が47.9%で最も高く、次いで「40歳から64歳までの時期」が33.9%となっています。

【問11】(単数回答)



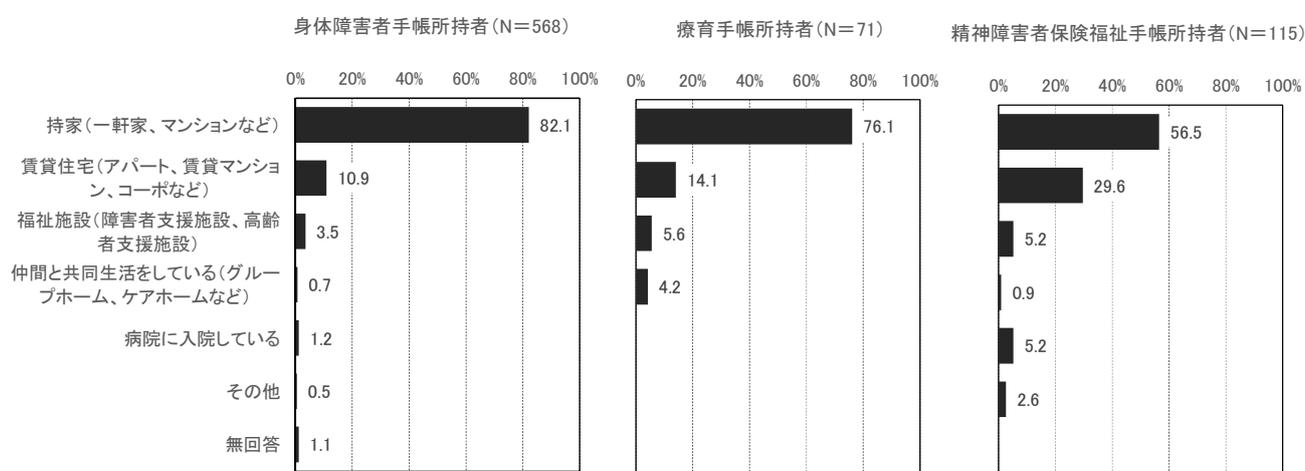
3. 生活の支援について

(1) あなたが現在暮らしているのはどちらですか。

現在どこで生活しているかについて、障がいの種別を問わず、「持家（一軒家、マンションなど）」が最も高く、身体障害者手帳所持者は82.1%、療育手帳所持者は76.1%、精神障害者保健福祉手帳所持者は56.5%となっています。

また、他に比べて精神障害者保健福祉手帳所持者では「賃貸住宅（アパート、賃貸マンション、コーポなど）」が高くなっています。

【問 12】（単数回答）

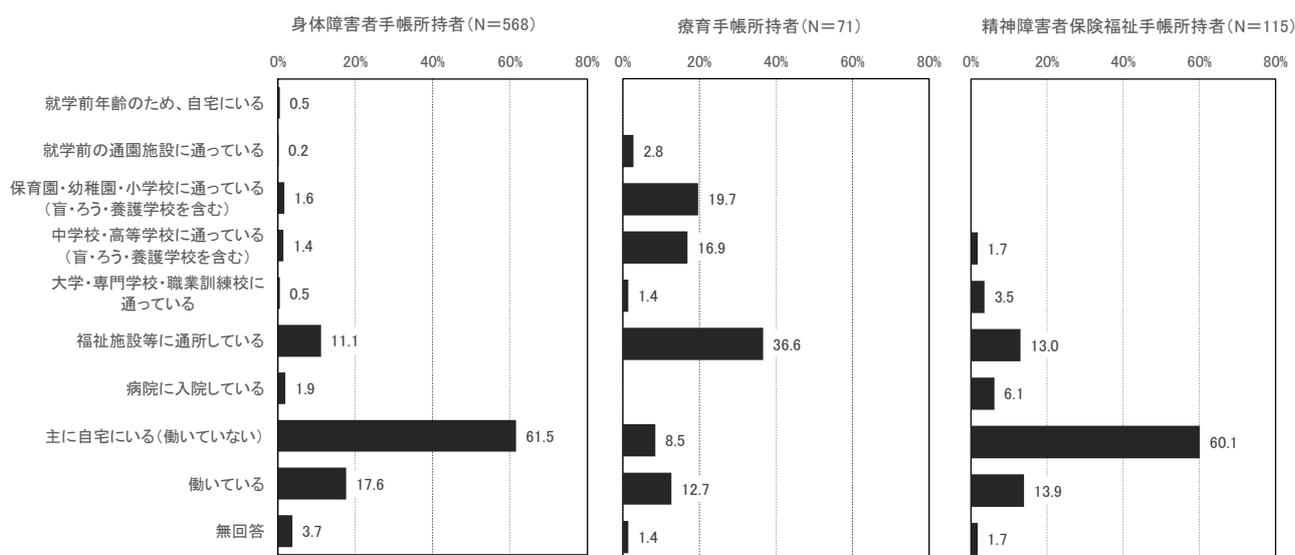


(2) あなたは平日の日中、どのように暮らしていますか。

平日の日中、どのように暮らしているかについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「主に自宅にいる（働いていない）」が61.5%、60.1%と最も高く、療育手帳所持者では「福祉施設等に通所している」が36.6%と最も高くなっています。

また、他に比べて身体障害者手帳所持者では「働いている」が、療育手帳所持者では「保育園・幼稚園・小学校に通っている（盲・ろう・養護学校を含む）」「中学校・高等学校に通っている（盲・ろう・養護学校を含む）」が高くなっています。

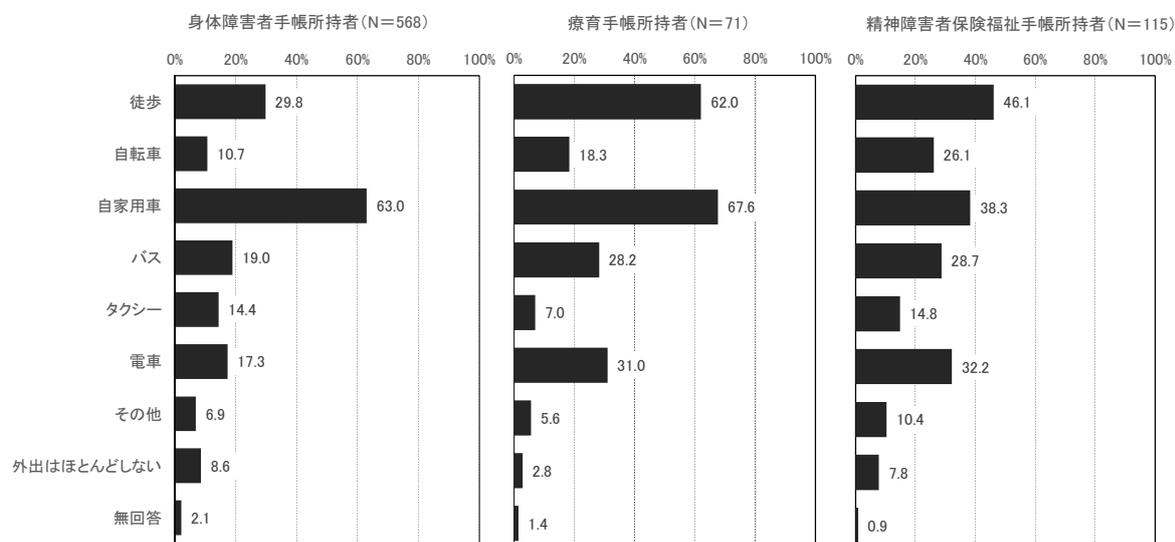
【問13】（単数回答）



(3) あなたは外出する時、何を利用して外出することが多いですか。

外出時に何を利用してしているかについて、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「自家用車」が63.0%、67.6%と最も高く、精神障害者保健福祉手帳所持者では「徒歩」が46.1%と最も高くなっています。

【問14】（複数回答）

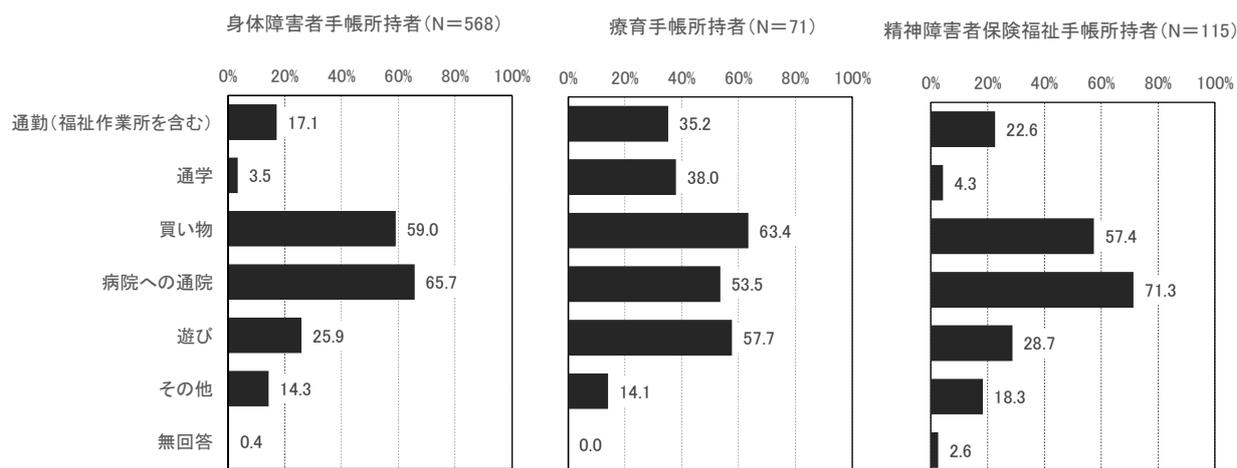


(4) あなたが外出する目的は何ですか。

外出する目的について、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「病院への通院」が65.7%、71.3%と最も高く、療育手帳所持者では「買い物」が63.4%と最も高くなっています。

また、他に比べて療育手帳所持者では「遊び」「通学」「通勤（福祉作業所を含む）」が高くなっています。

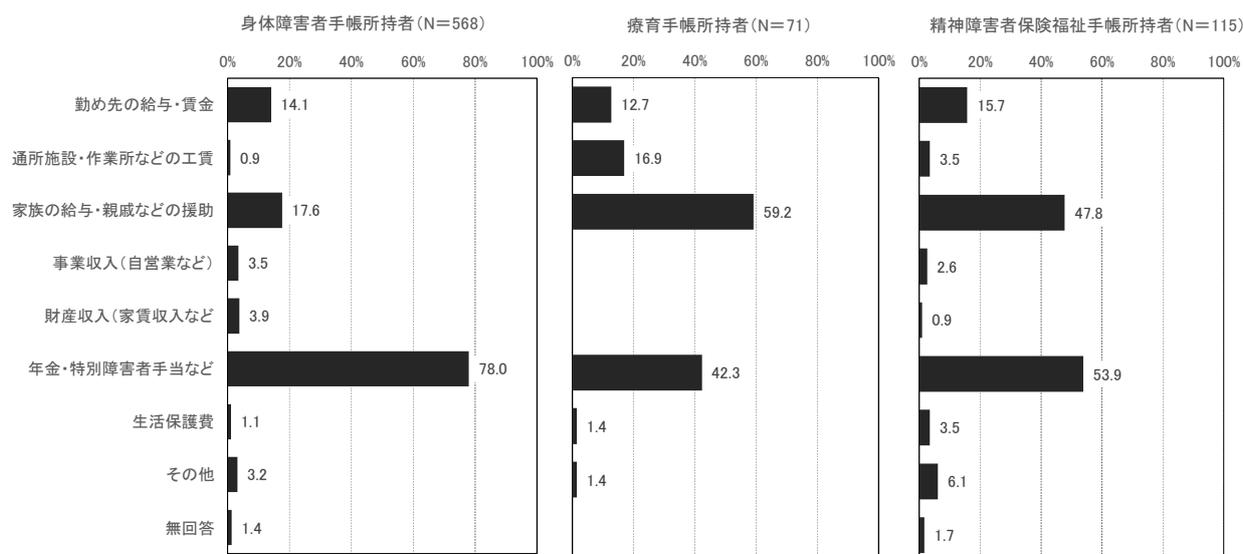
【問 15】（複数回答）



(5) あなたが生活していく上での収入は何ですか。

生活していく上での収入について、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「年金・特別障害者手当など」が78.0%、53.9%と最も高く、療育手帳所持者では「家族の給与・親戚などの援助」が59.2%と最も高くなっています。

【問 16】（複数回答）



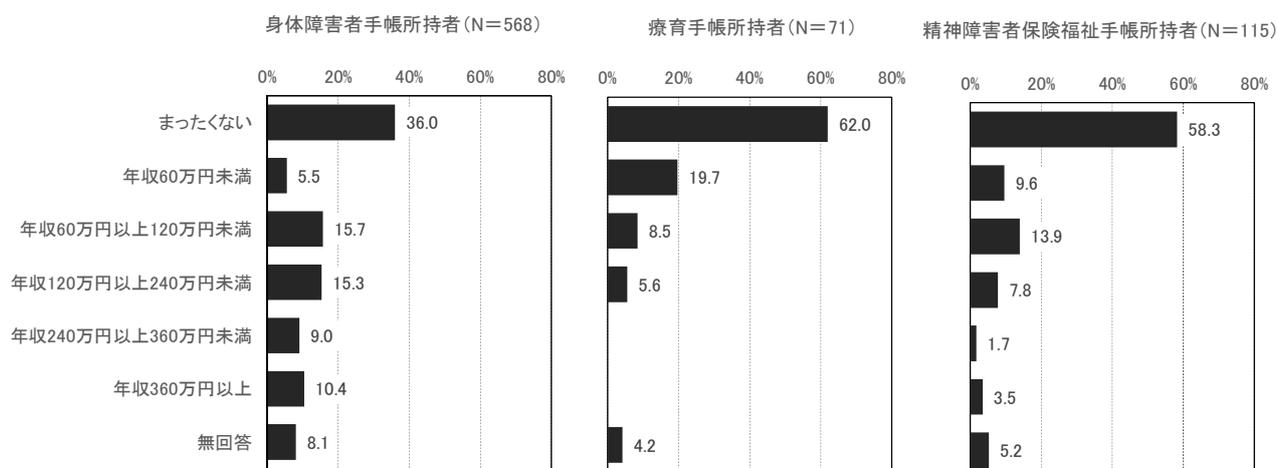
(6) あなたの年収の総額は、おいくらですか。

※仕事の対価として得たお金で、年金や手当、生活保護費は除く。

年収の総額について、障がいの種別を問わず、「まったくない」が最も高く、身体障害者手帳所持者は36.0%、療育手帳所持者は62.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者は58.3%となっています。

また、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は「年収60～120万円未満」が、療育手帳所持者は「年収60万未満」が次いで高くなっています

【問17】(単数回答)



(7) あなたは次のことをどのようにしていますか。それぞれにお答えください。

①介助が必要なのは、どのようなときですか

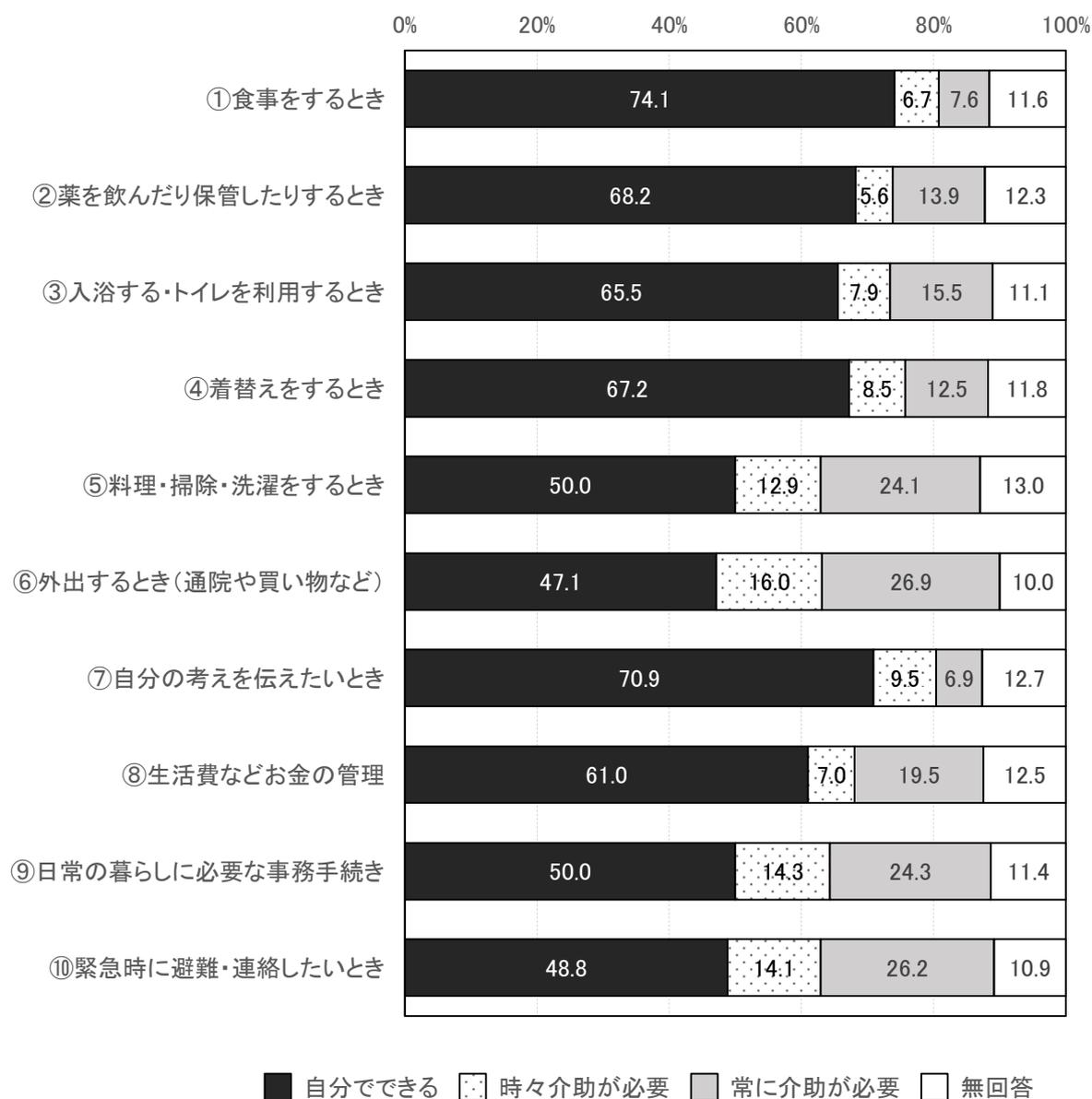
■身体障害者手帳所持者

介助が必要な時についてみると、身体障害者手帳所持者では「自分でできる」で『食事をするとき』が74.1%と最も高く、次いで『自分の考えを伝えたいとき』が70.9%と高くなっています。

また、「常に介助が必要」で『外出するとき（通院や買い物など）』が26.9%と最も高く、次いで『緊急時に避難・連絡したいとき』が26.2%となっています。

【問18-①】（単数回答）

身体障害者手帳（N=568）



①介助が必要なのは、どのようなときですか

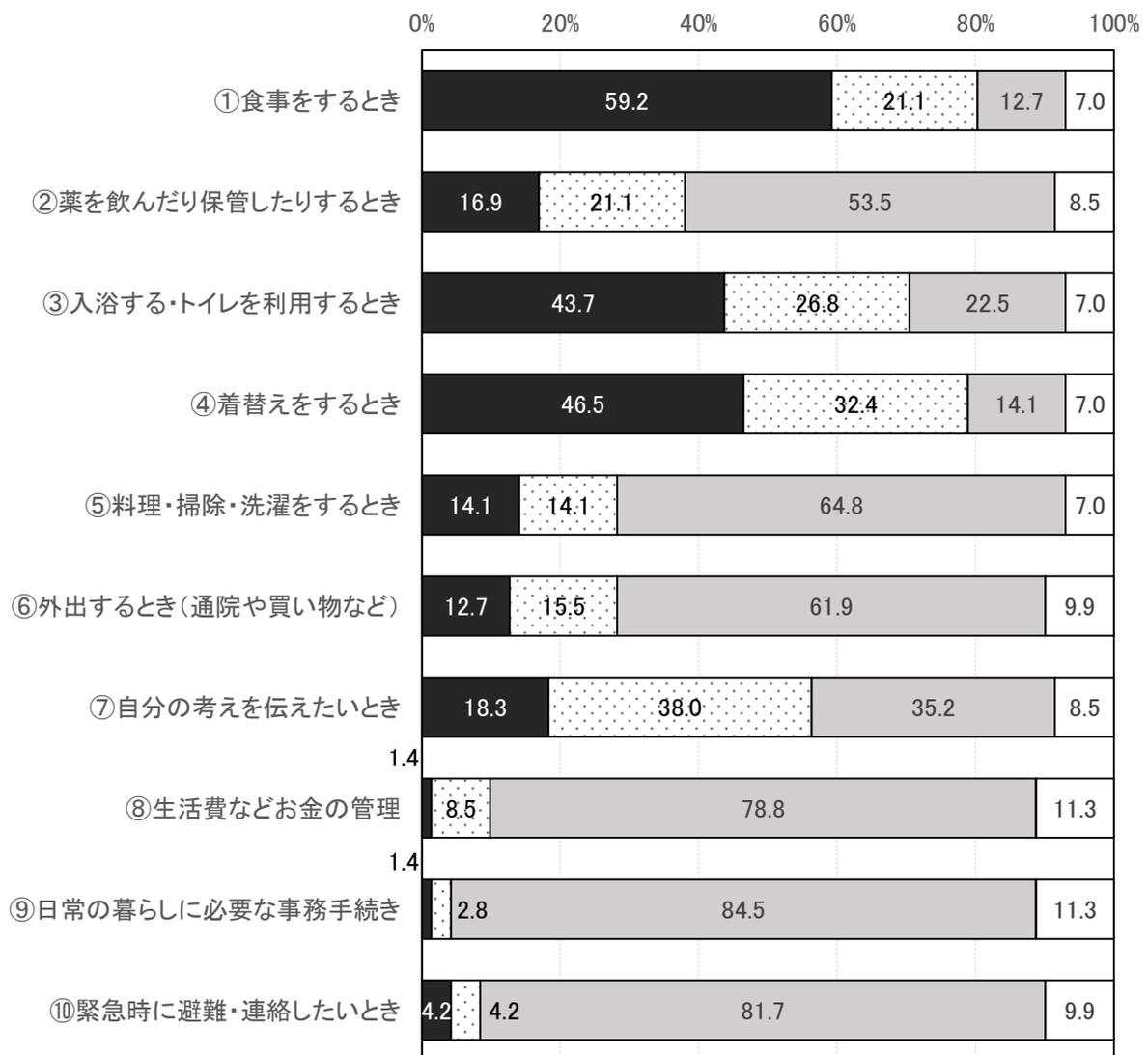
■療育手帳所持者

療育手帳所持者では「自分でできる」で『食事するとき』が59.2%と最も高く、次いで『着替えをするとき』が46.5%となっています。

また、「常に介助が必要」で『日常の暮らしに必要な事務手続き』が84.5%と最も高く、次いで『緊急時に避難・連絡したいとき』が81.7%となっています。

【問 18-①】（単数回答）

療育手帳（N=71）



■ 自分でできる □ 時々介助が必要 □ 常に介助が必要 □ 無回答

①介助が必要なのは、どのようなときですか

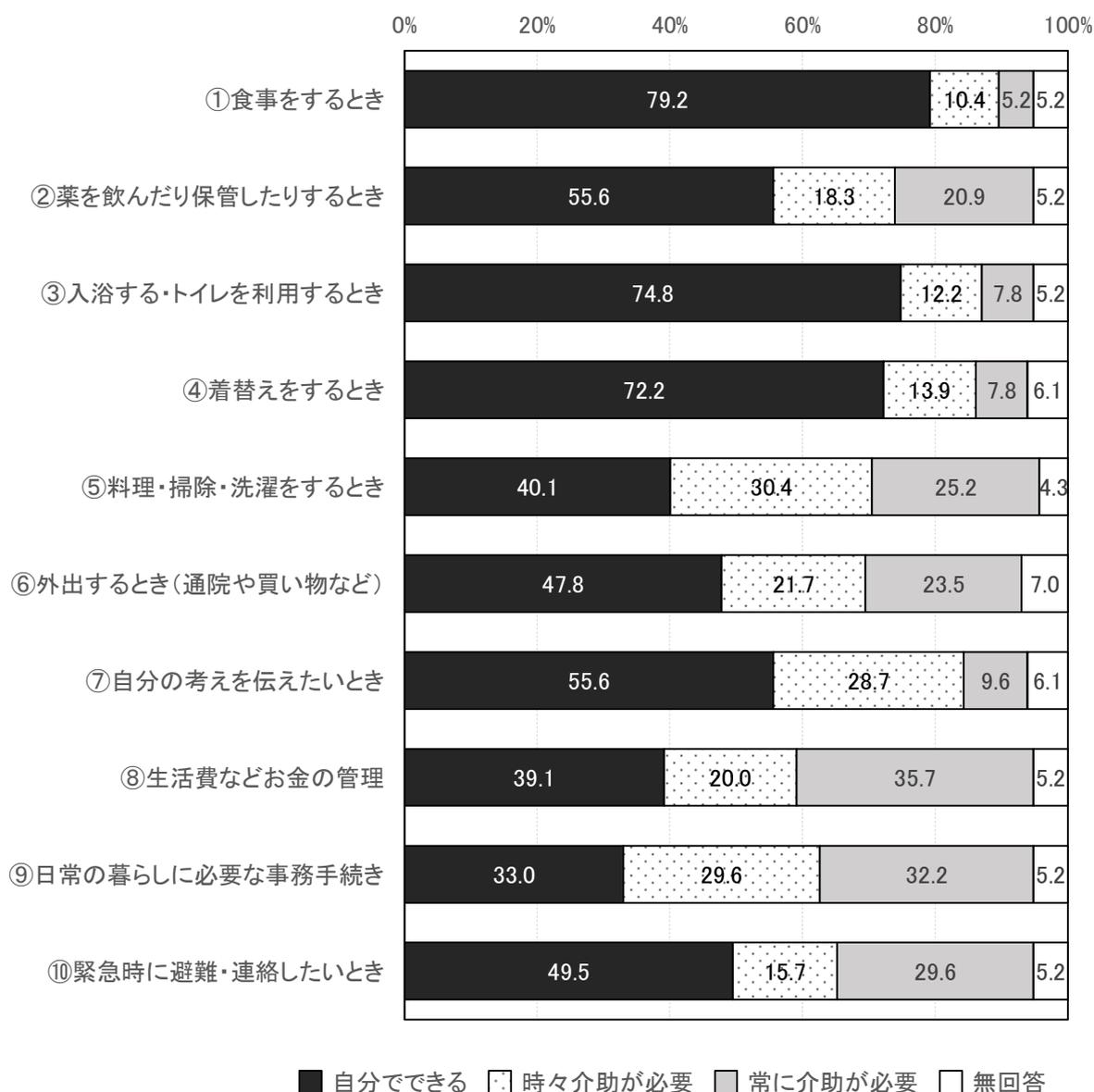
■精神障害者保健福祉手帳所持者

精神障害者保健福祉手帳所持者では「自分でできる」で『食事をするとき』が79.2%で最も高く、次いで『入浴する・トイレを使用するとき』が74.8%となっています。

また、「常に介助が必要」で『生活費などお金の管理』が35.7%と最も高く、次いで『日常の暮らしに必要な事務手続き』が32.2%となっています。

【問 18-①】（単数回答）

精神障害者保健福祉手帳（N=115）



②介助をお願いするのは、主にどなたですか

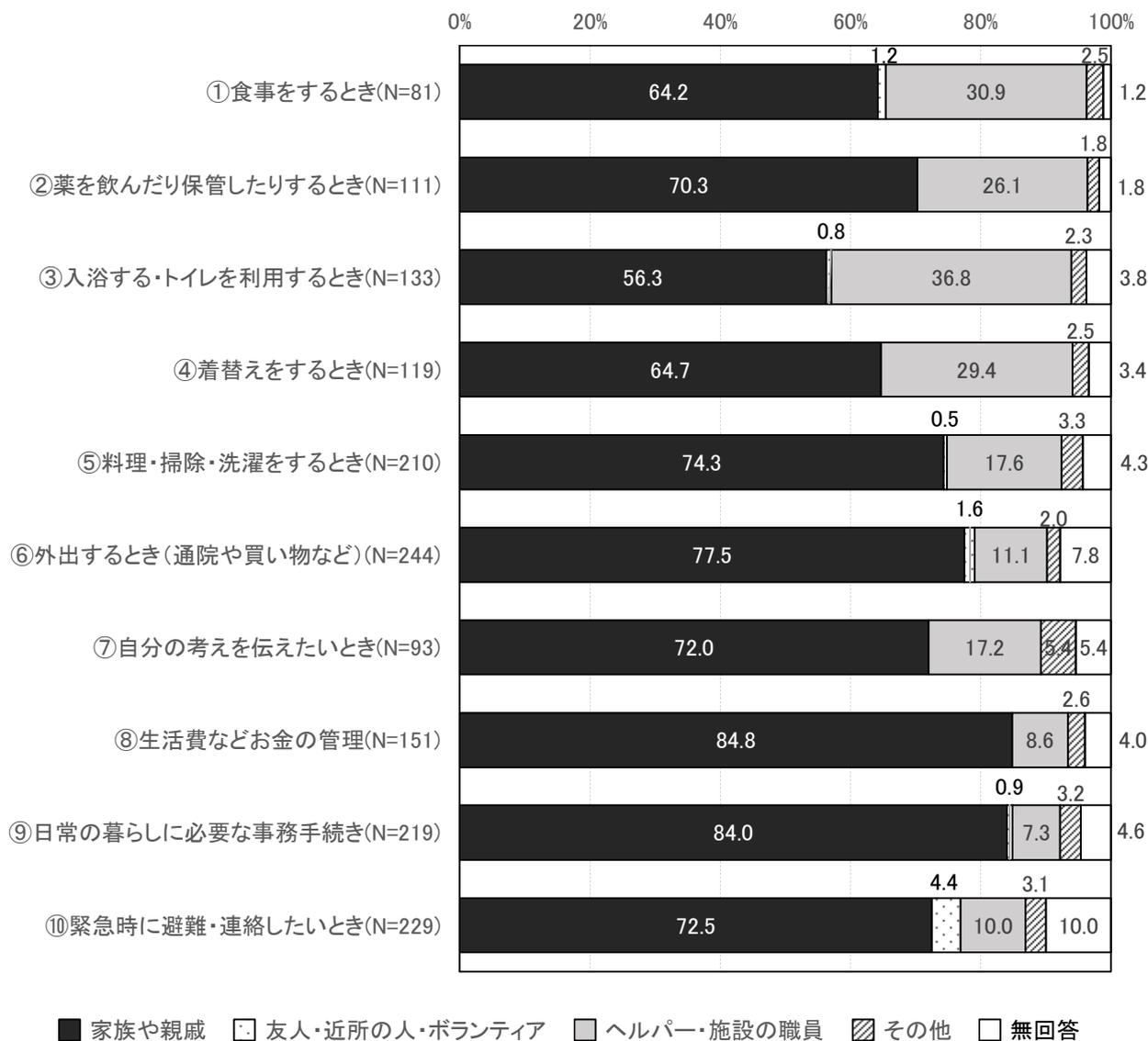
※問 18-①で「時々介助が必要」「常に介助が必要」と答えた方のみへの質問

■身体障害者手帳所持者

介助が必要な時の介助者についてみると、身体障害者手帳所持者では「家族や親戚」で『生活費などお金の管理』が84.8%と最も高く、次いで『日常の暮らしに必要な事務手続き』が84.0%となっています。

また、「ヘルパー・施設の職員」で『入浴する・トイレを使用するとき』が36.8%と最も高く、次いで『食事をするとき』が30.9%となっています。

【問 18-②】（単数回答）



②介助をお願いするのは、主にどなたですか

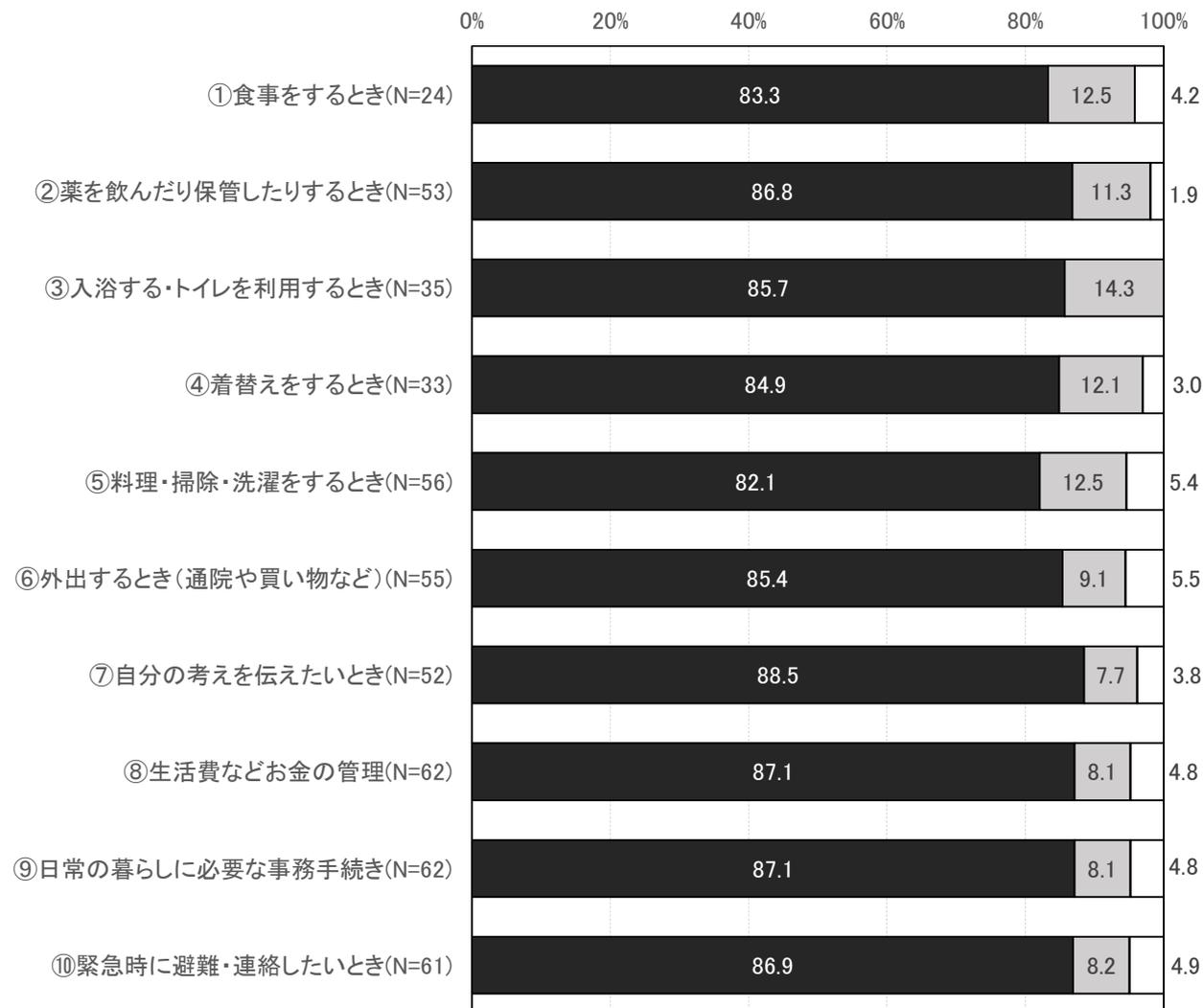
※問18-①で「時々介助が必要」「常に介助が必要」と答えた方のみへの質問

■療育手帳所持者

療育手帳所持者では「家族や親戚」で『自分の考えを伝えたいとき』が88.5%と最も高く、次いで『生活費などお金の管理』『日常の暮らしに必要な事務手続き』が87.1%となっています。

また、「ヘルパー・施設の職員」で『入浴する・トイレを利用するとき』が14.3%と最も高く、次いで『食事をするとき』『料理・掃除・洗濯をするとき』が12.5%となっています。

【問18-②】（単数回答）



■ 家族や親戚 □ 友人・近所の人・ボランティア ■ ヘルパー・施設の職員 ▨ その他 □ 無回答

②介助をお願いするのは、主にどなたですか

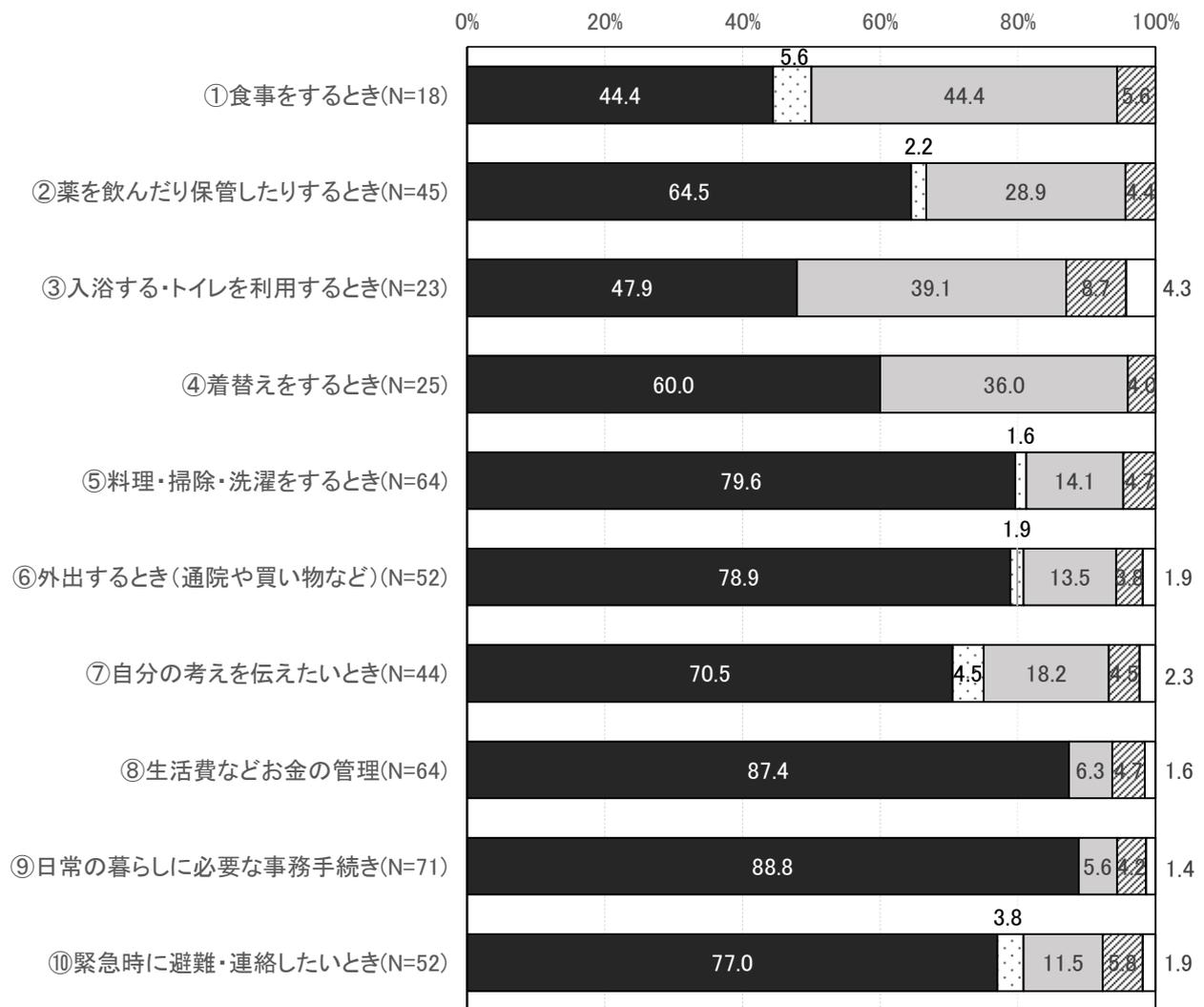
※問18-①で「時々介助が必要」「常に介助が必要」と答えた方のみへの質問

■介助者：精神障害者保健福祉手帳所持者

精神障害者保健福祉手帳所持者では「家族や親戚」で『日常の暮らしに必要な事務手続き』が88.8%と最も高く、次いで『生活費などお金の管理』が87.4%と高くなっています。

また、「ヘルパー・施設の職員」で『食事をするとき』が44.4%と最も高く、次いで『入浴する・トイレを利用するとき』が39.1%となっています。

【問18-②】（単数回答）



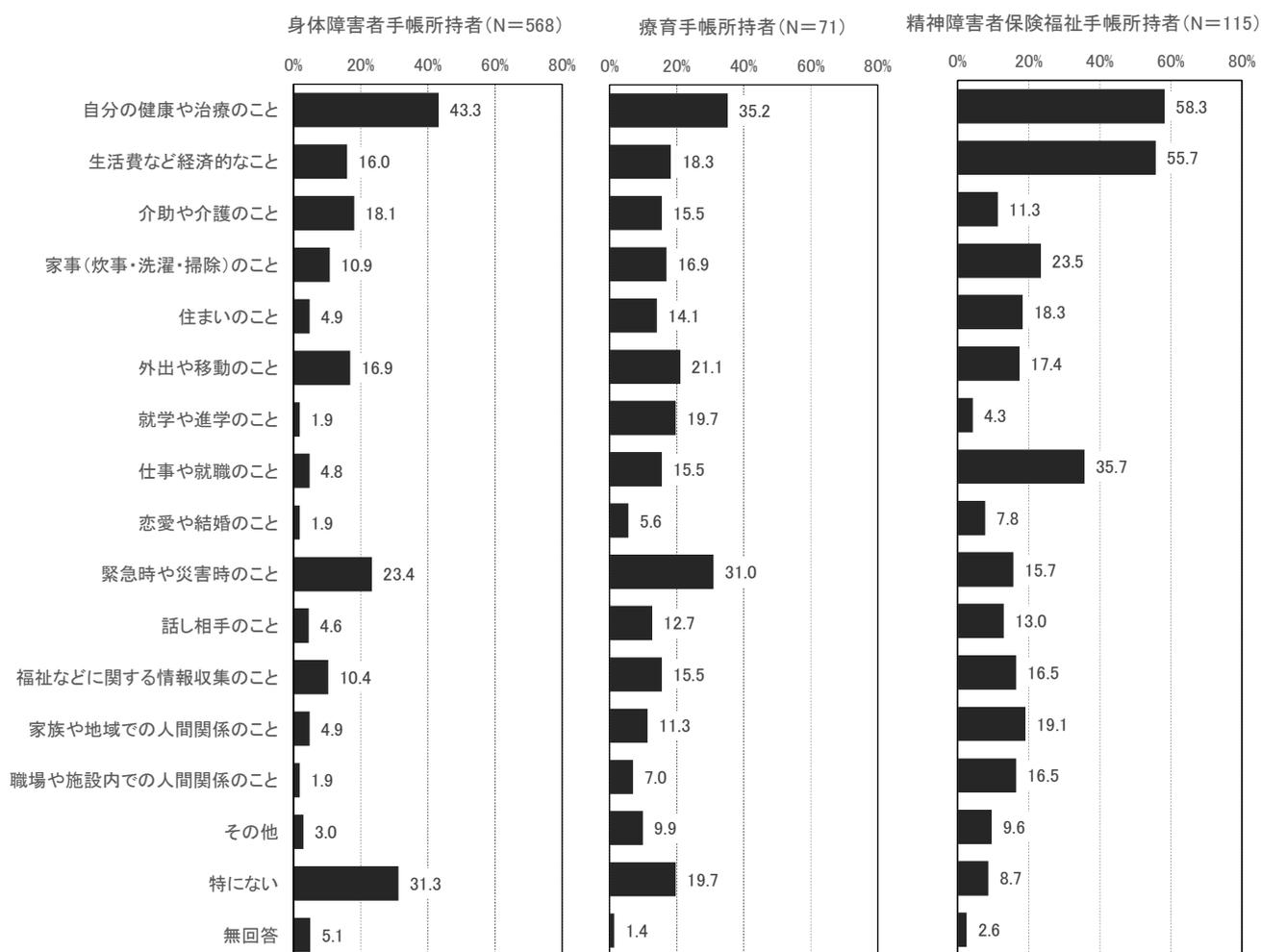
■ 家族や親戚 □ 友人・近所の人・ボランティア ■ ヘルパー・施設の職員 ▨ その他 □ 無回答

(8) 現在、あなたは、悩んでいることや相談したいことがありますか。

悩んでいることや相談したいことについて、障がいの種別を問わず「自分の健康や治療のこと」が最も高く身体障害者手帳所持者は43.3%、療育手帳所持者は35.2%、精神障害者保健福祉手帳所持者は58.3%となっています。

また、他に比べて身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「緊急時や災害時のこと」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「生活費など経済的なこと」「仕事や就職のこと」などがそれぞれ高くなっています。

【問19】(複数回答)

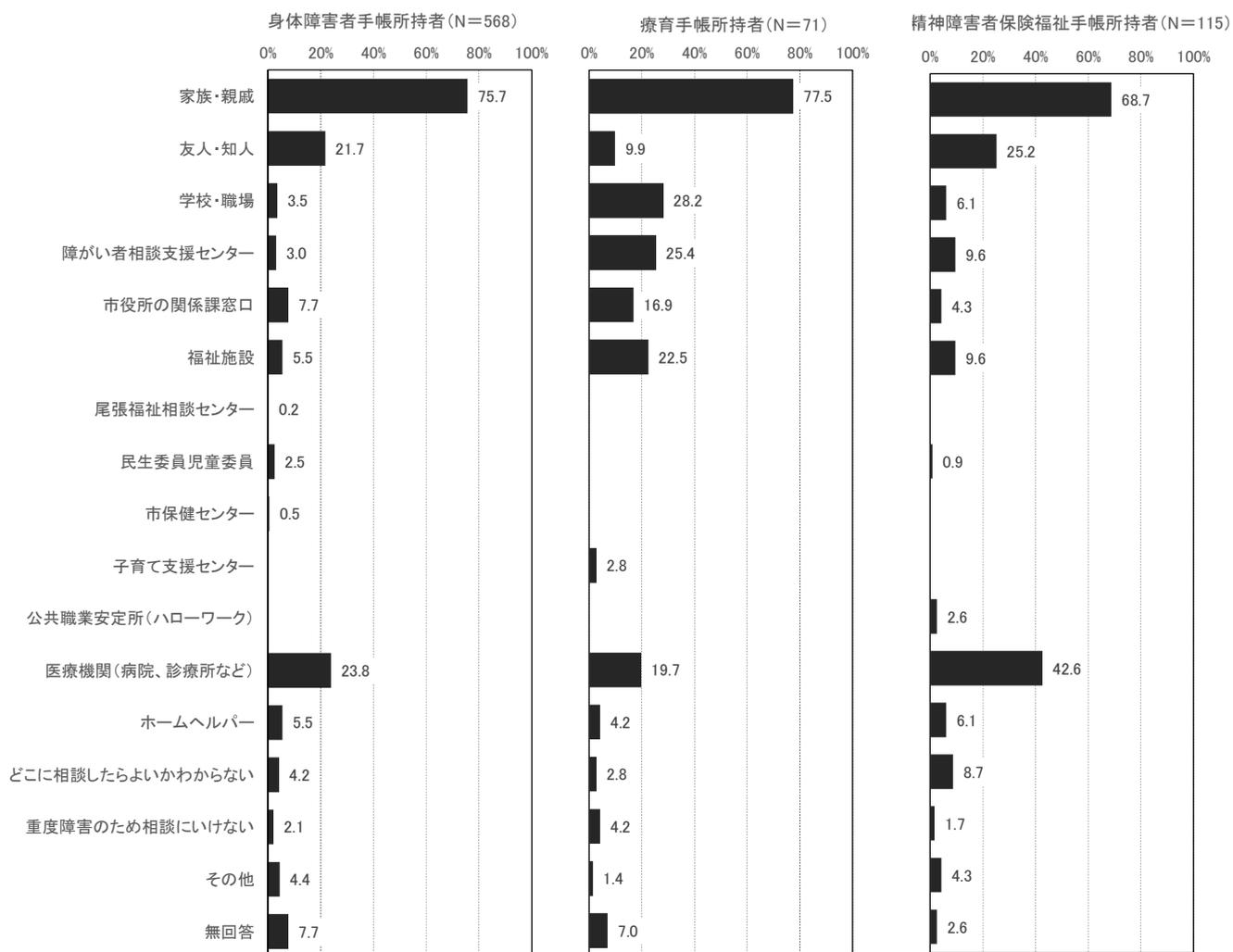


(9) あなたが、悩んでいることを相談する相手は誰（どこ）ですか。

悩みを相談する相手について、障がいの種別を問わず、「家族・親戚」が最も高く、身体障害者手帳所持者は75.7%、療育手帳所持者は77.5%、精神障害者保健福祉手帳所持者は68.7%となっています。

また、他に比べて療育手帳所持者では「学校・職場」が、精神障害者保健福祉手帳所持者では「医療機関（病院・診療所など）」が高くなっています。

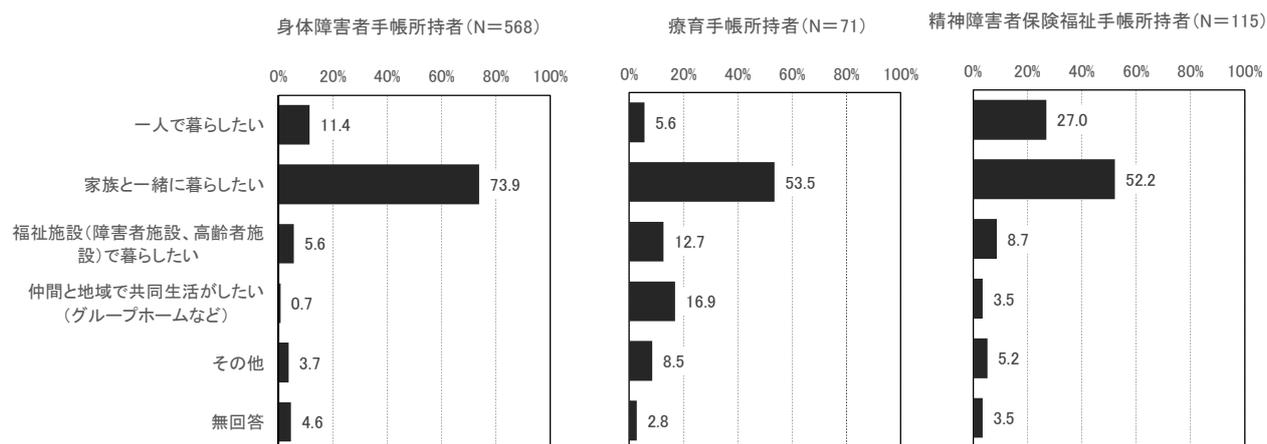
【問 20】（複数回答）



(10) あなたは今後、どのような暮らし方を望みますか。

今後、どのような暮らし方を望むかについて、障がいの種別を問わず、「家族と一緒に暮らしたい」が最も高く、身体障害者手帳所持者は73.9%、療育手帳所持者は53.5%、精神障害者保健福祉手帳所持者は52.2%となっています。次いで身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は「一人で暮らしたい」、療育手帳所持者は「仲間と地域で共同生活がしたい（グループホームなど）」となっています。

【問 21】（単数回答）

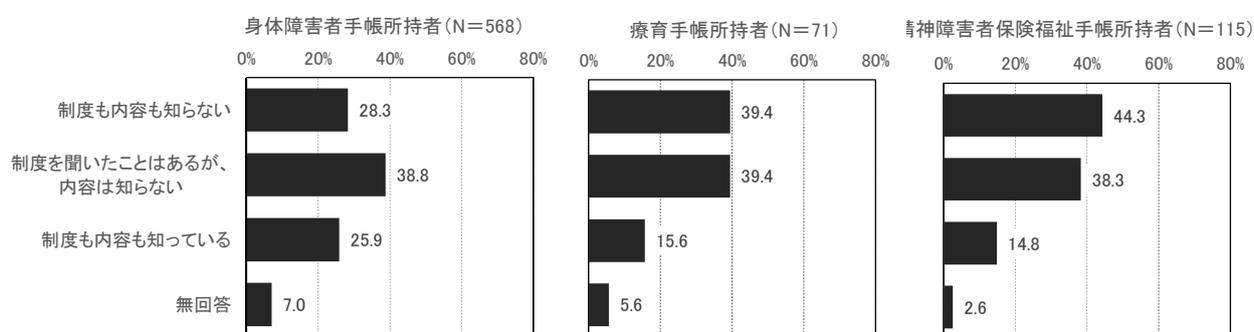


4. 権利擁護について

(1) 成年後見制度とは、知的障がいや精神障がいのため、十分な判断ができない方の権利を守る制度です。あなたは成年後見制度について知っていますか。

成年後見制度の認知度について、身体障害者手帳所持者は「制度を聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.8%、療育手帳所持者は「制度も内容も知らない」「制度を聞いたことはあるが、内容は知らない」39.4%、精神障害者保健福祉手帳所持者は「制度も内容も知らない」44.3%と最も高くなっています。

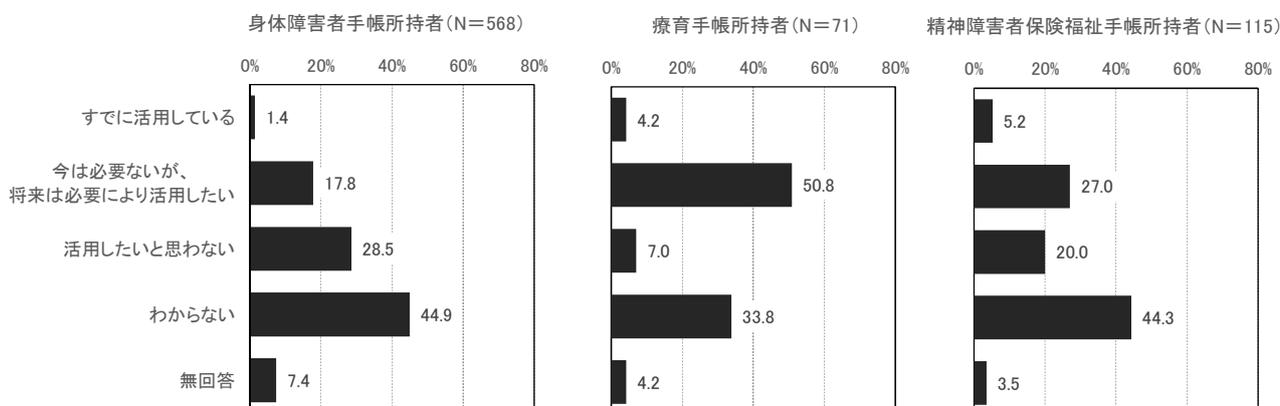
【問 22】(単数回答)



(2) あなたは成年後見制度を活用したいと思いますか。

成年後見制度を活用したいと思うかについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「わからない」が44.9%、44.3%と最も高く、療育手帳所持者では「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」が50.8%と最も高くなっています。

【問 23】(単数回答)

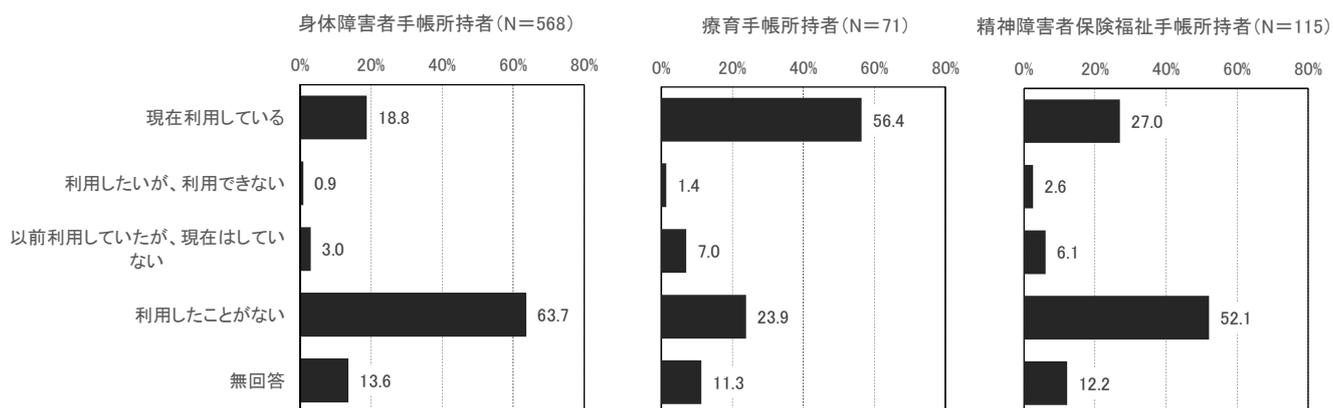


5. 障害福祉サービスなどについて

(1) あなたは障害者総合支援法による福祉サービスを利用していますか。

障害者自立支援法による福祉サービスを利用しているかについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「利用したことがない」が63.7%、52.1%と最も高く、療育手帳所持者では「現在利用している」が56.4%と最も高くなっています。

【問 24】（単数回答）



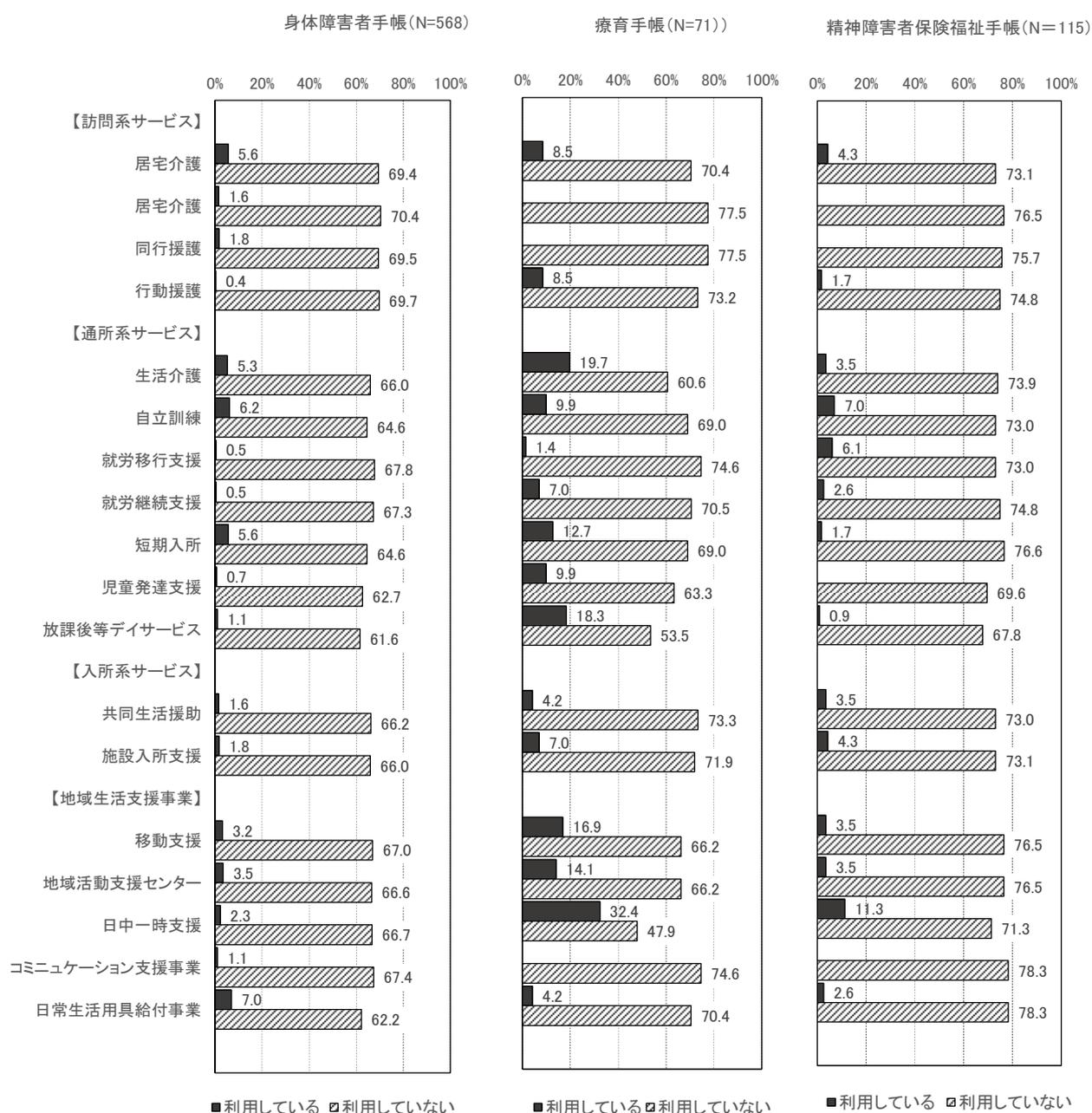
(2) あなたが現在利用しているサービス及び今後利用したいサービスについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 ※介護保険制度の利用分は除いてください。

①利用状況

現在利用しているサービスの利用状況について、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「利用している」が1割未満、「利用していない」が6割～7割となっています。

療育手帳所持者では、「利用している」で『日中一時支援』が32.4%と最も高く、次いで『生活介護』が19.7%と高くなっています。

【問 25-①】(単数回答)

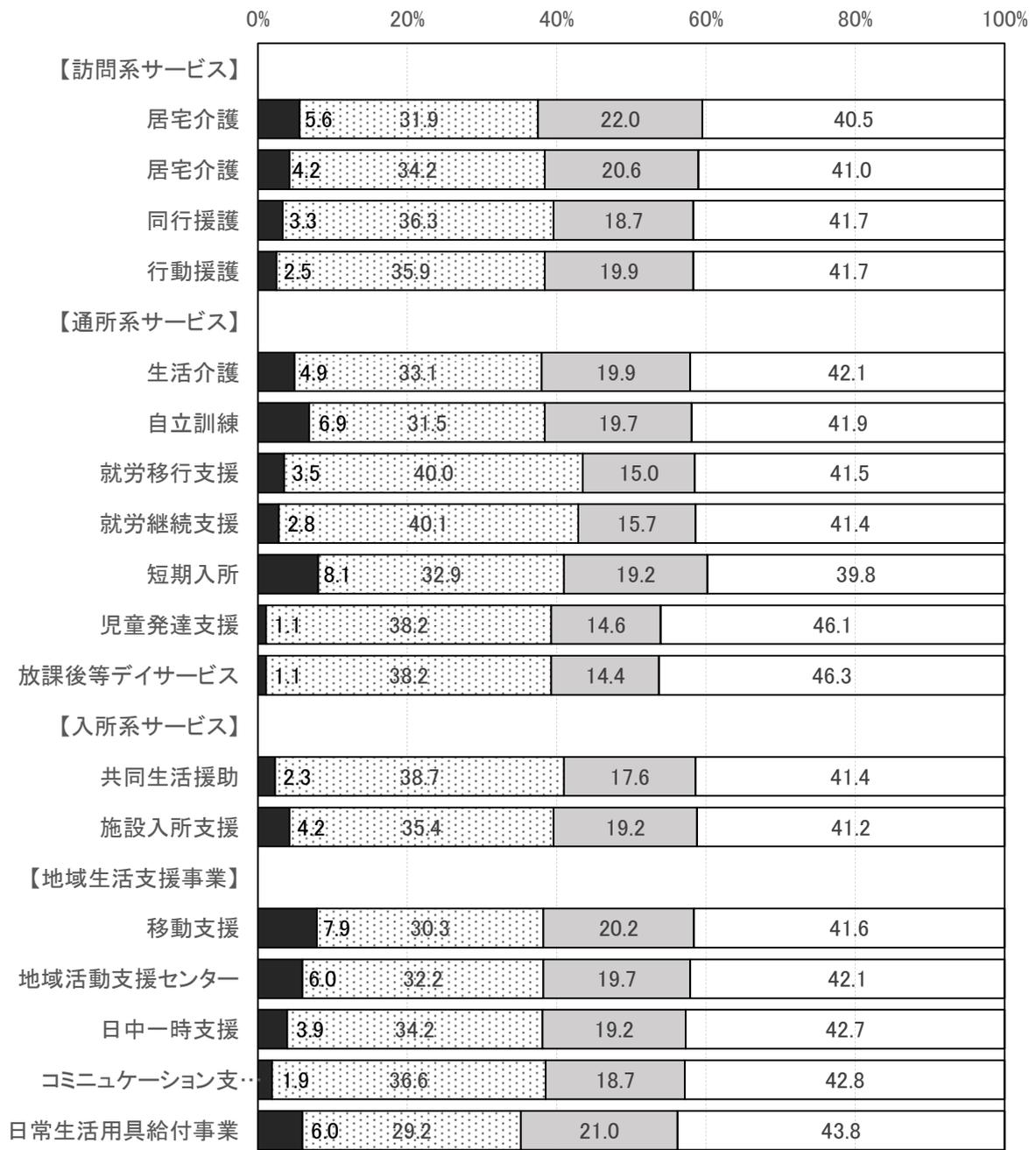


②利用意向

■身体障害者手帳所持者

利用意向について、身体障害者手帳所持者では、「利用を増やしたい」で『短期入所』が8.1%と最も高く、次いで『移動支援』が7.9%、『自立訓練』が6.9%となっています。

【問 25-②】（単数回答）



■ 利用したい □ 利用の予定はない □ わからない □ 無回答

②利用意向

■療育手帳所持者

利用意向について、療育手帳所持者では、「利用を増やしたい」で『日中一時支援』が31.0%と最も高く、次いで『短期入所』『移動支援』が22.5%となっています。

【問 25-②】（単数回答）



■利用したい □利用の予定はない □わからない □無回答

②利用意向

■精神障害者保健福祉手帳所持者

利用意向について、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「利用を増やしたい」で『就労移行支援』が20.9%と最も高く、次いで『就労継続支援』が17.4%、『自立訓練』が13.0%となっています。

【問25-②】（単数回答）



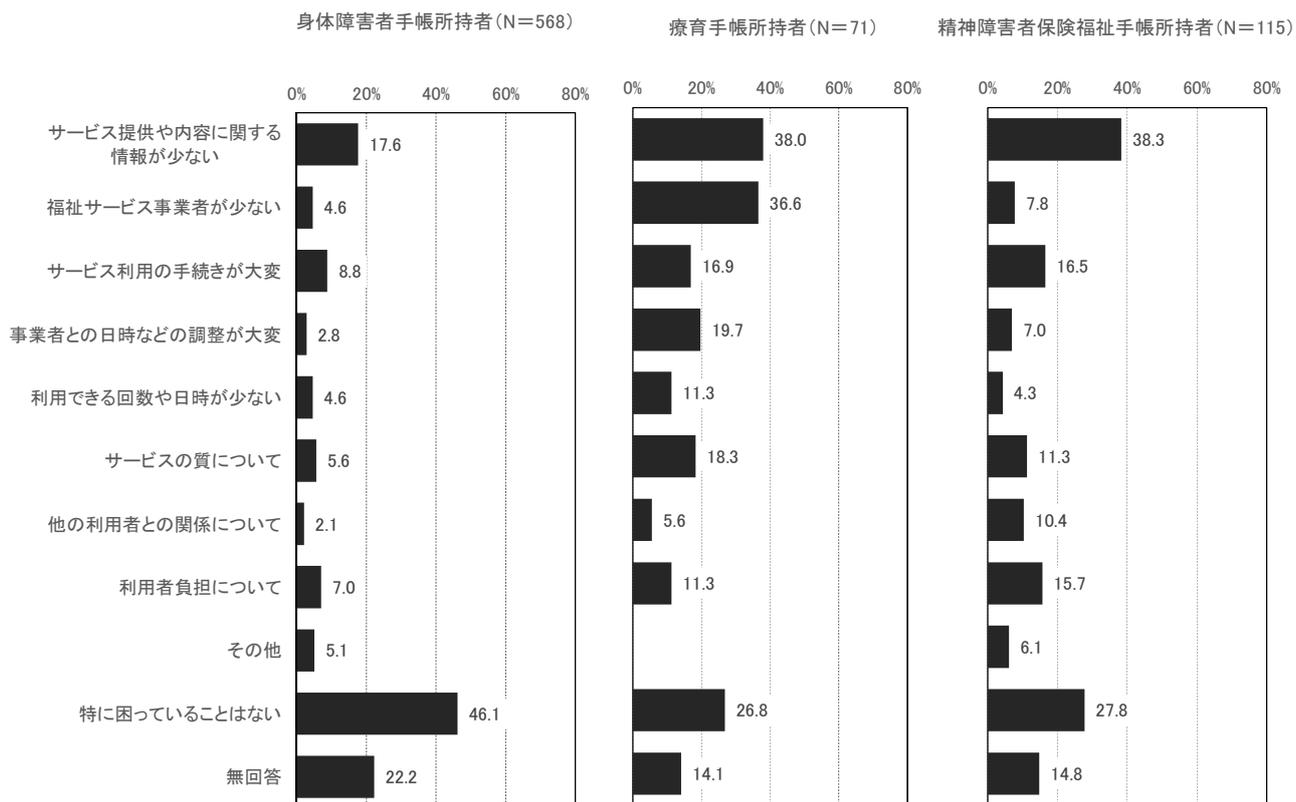
■利用したい □利用の予定はない □わからない □無回答

(3) あなたが障害福祉サービスなどを利用する上で、困っていることは何ですか。

障害福祉サービスなどを利用する上で、困っていることについて、身体障害者手帳所持者では「特に困っていることはない」が46.1%、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「サービス提供や内容に関する情報が少ない」が38.0%、38.3%と最も高くなっています。

また、他に比べて療育手帳所持者では「福祉サービス事業者が少ない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「利用者負担について」がそれぞれ高くなっています。

【問 26】（複数回答）

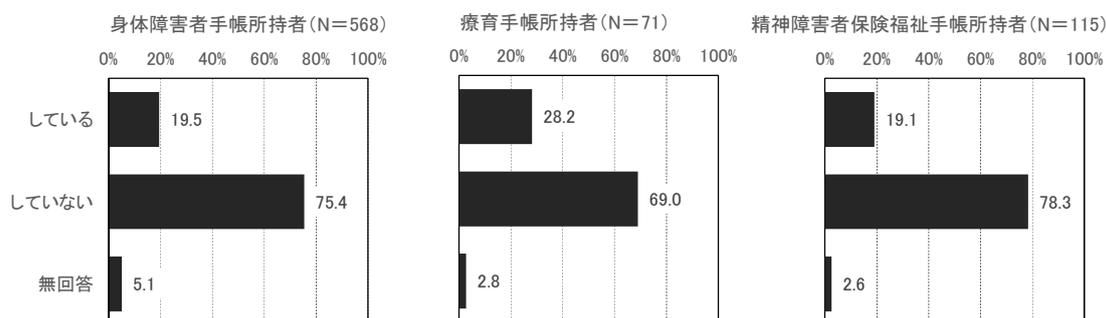


6. 雇用・就労について

(1) あなたは、現在、仕事をしていますか。

現在仕事をしているかについて、身体障害者手帳所持者では、「している」が19.5%、「していない」が75.4%となっています。療育手帳所持者では、「している」が28.2%、「していない」が69.0%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「している」が19.1%、「していない」が78.3%となっています。

【問27】(単数回答)

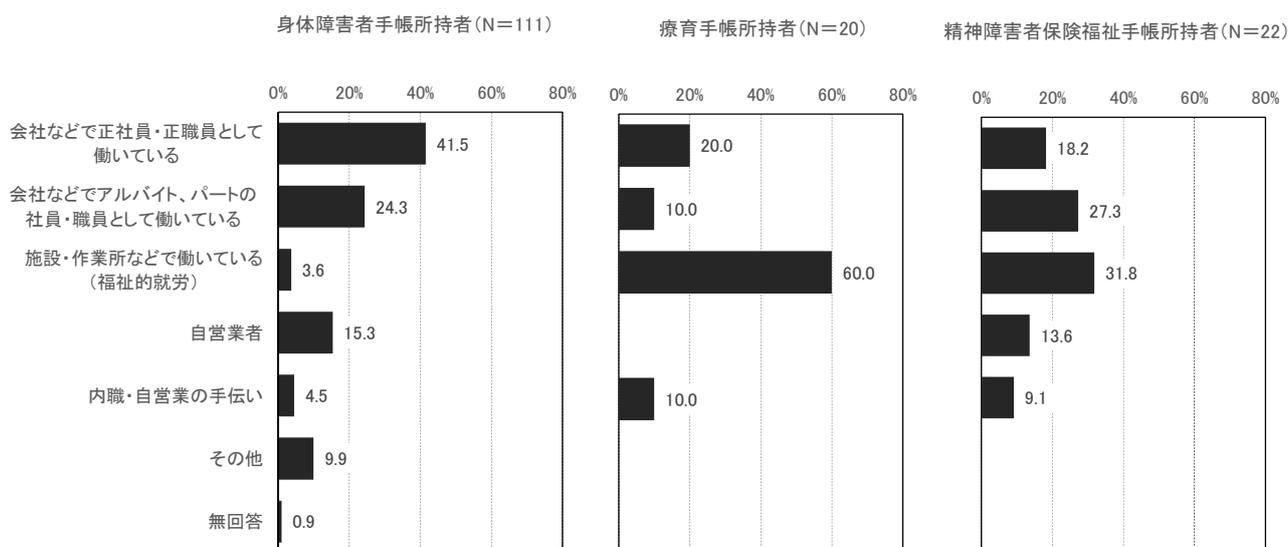


(2) あなたは、どこで働いていますか。

※問27で「している」と答えた方のみへの質問

勤めている場所について、身体障害者手帳所持者では「会社などで正社員・正職員として働いている」が41.5%と最も高く、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「施設・作業所などで働いている（福祉的就労）」が60.0%、31.8%と最も高くなっています。

【問28】(単数回答)



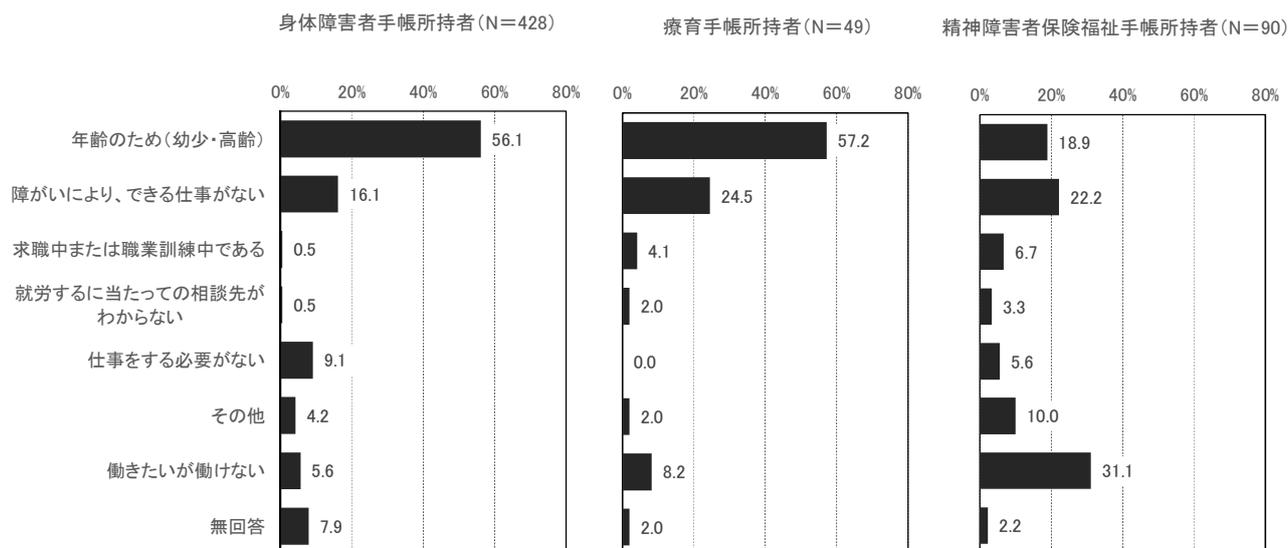
(3) 働いていない主な理由は何ですか。

※問27で「していない」と答えた方のみへの質問

働いていない理由について、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「年齢のため（幼少・学生・高齢）」が56.1%、57.2%と最も高く、精神障害者保健福祉手帳所持者では「働きたいが働けない」が31.1%と最も高くなっています。

次いで、障がいの種別を問わず「働きたいが働けない」となっています。

【問29】（単数回答）

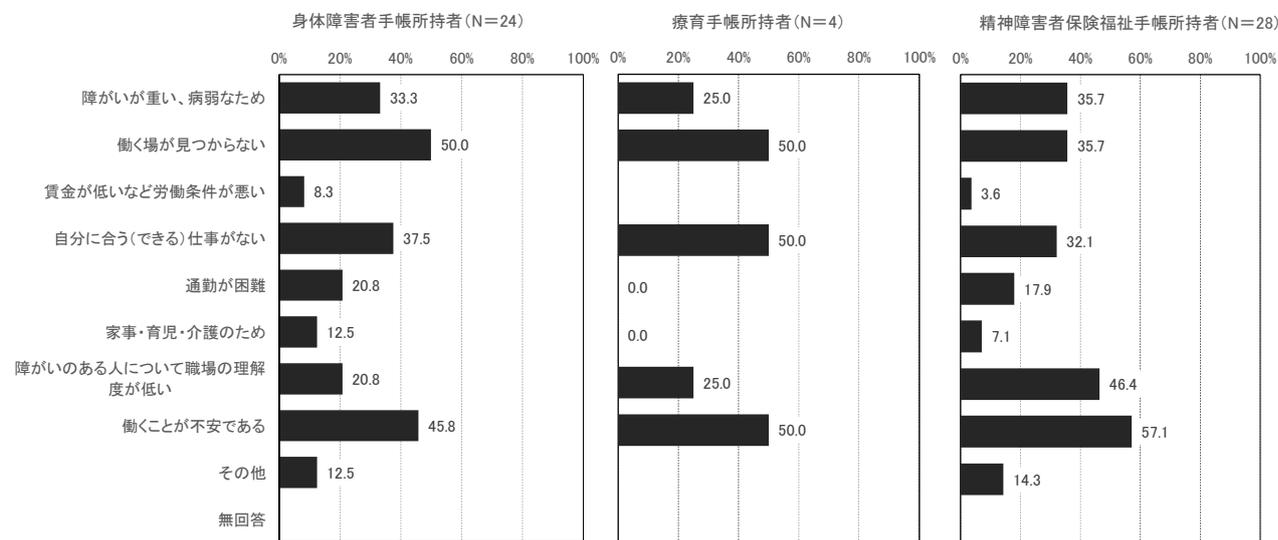


(4) その理由は何ですか。

※問29で「働きたいが働けない」と答えた方のみへの質問

働けない理由について、身体障害者手帳所持者では、「働く場が見つからない」が50.0%、療育手帳所持者では、「働く場が見つからない」「自分に合う(できる)仕事がない」「働くことが不安である」がそれぞれ50.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「働くことが不安である」が57.1%と最も高くなっています。

【問30】（複数回答）

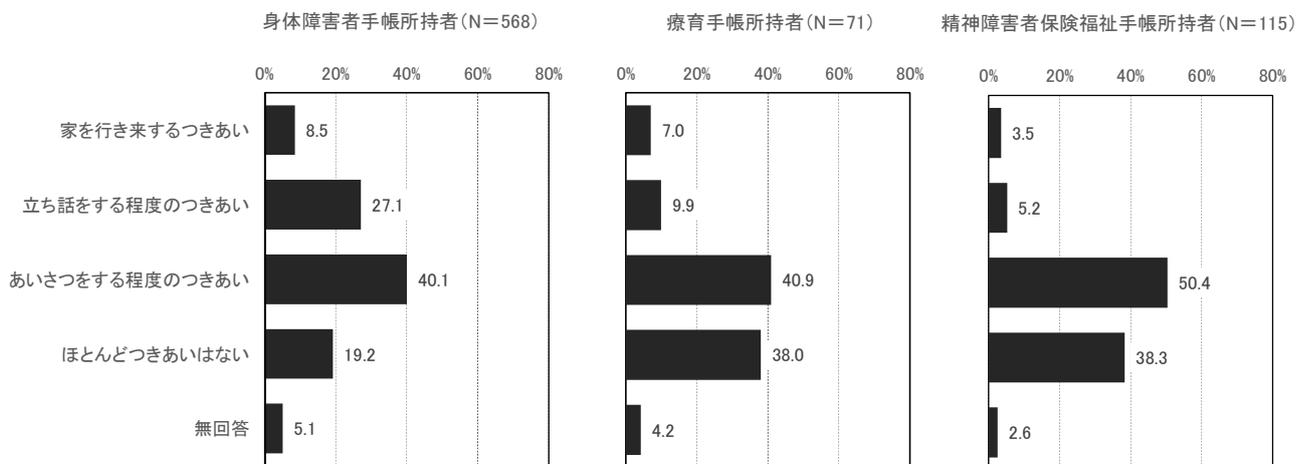


7. 地域社会とのかかわりについて

(1) あなたは、ふだん近所の方とどの程度おつきあいをしていますか。

近所の方とのつきあいの程度について、障がいの種別を問わず「あいさつをする程度のつきあい」が40.1%、40.3%、50.4%と最も高くなっています。次いで、身体障害者手帳所持者では「立ち話をする程度のつきあい」、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「ほとんどつきあいはない」となっています。

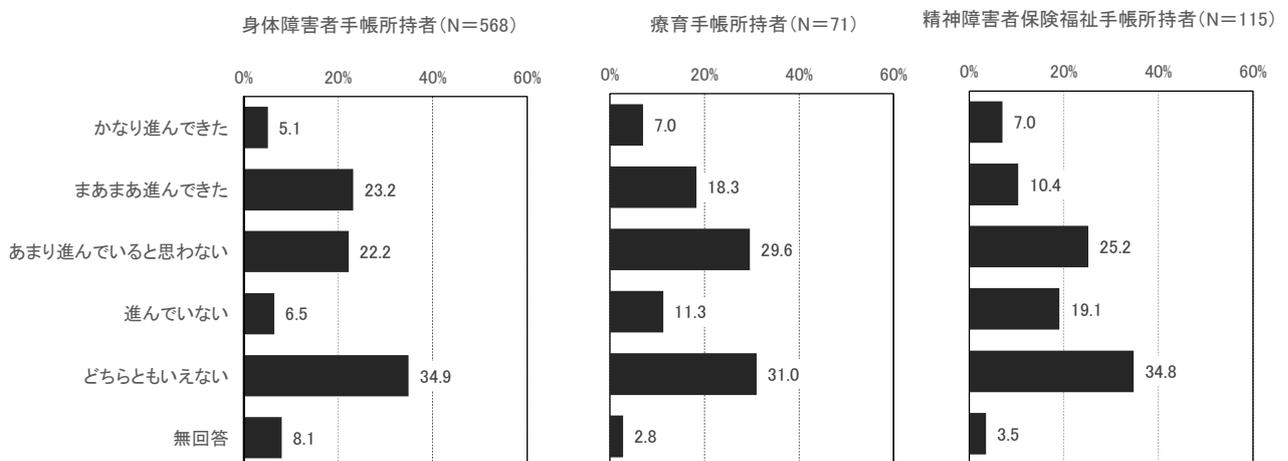
【問 32】（単数回答）



(2) あなたは、障がいのある人に対する地域の理解は進んできたと思いますか。

障がいのある人に対する地域の理解について、障がいの種別を問わず「どちらともいえない」が34.9%、31.0%、34.8%と最も高くなっています。次いで、身体障害者手帳所持者では「まあまあ進んできた」、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「あまり進んでいると思わない」となっています。

【問 33】（単数回答）



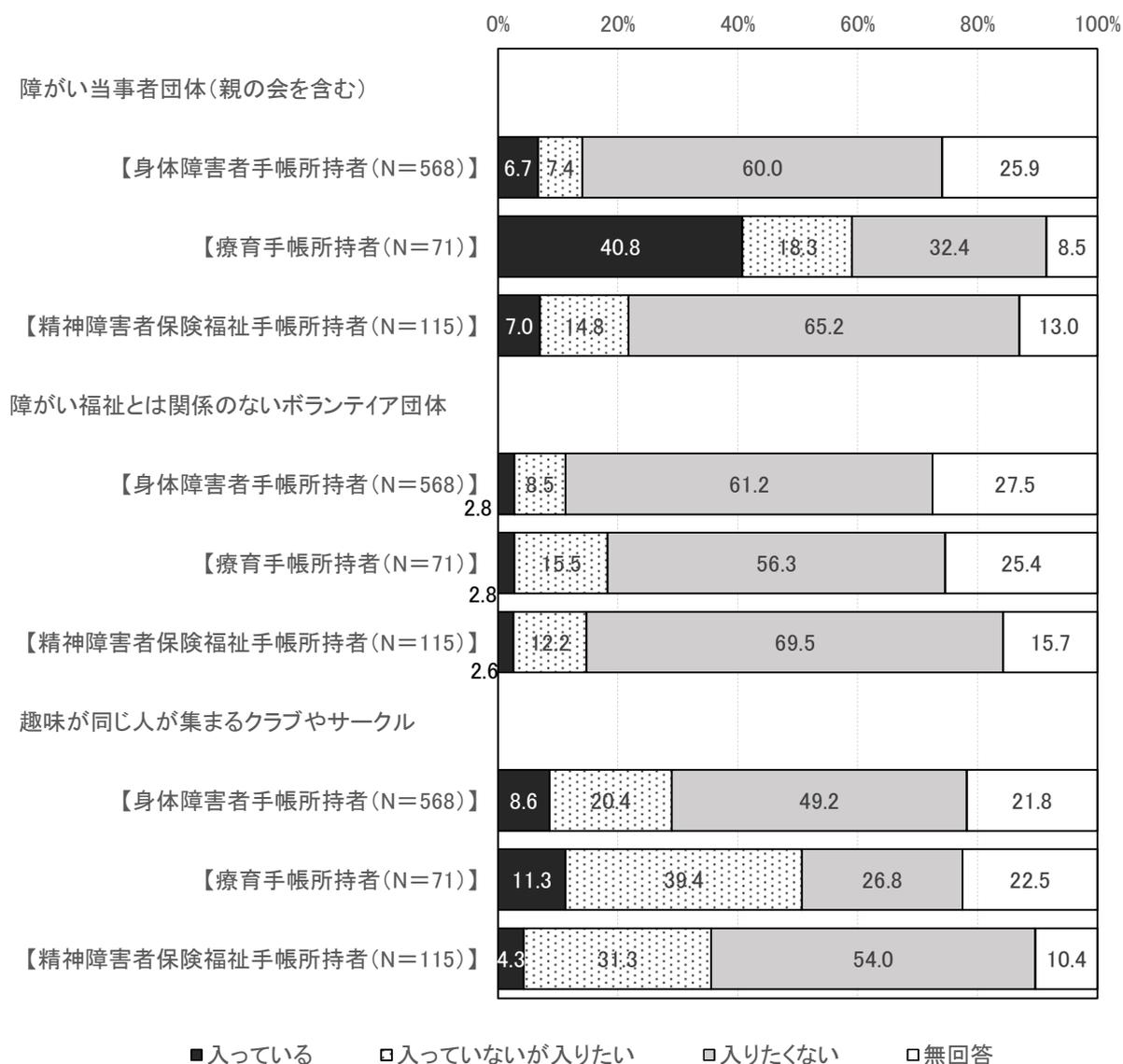
(3) あなたは、次の団体に入っていますか。または入りたいですか。

団体への加入、加入希望について、「障がい当事者団体（親の会を含む）」の加入では、「療育手帳所持者」が40.8%、また、加入希望では18.3%と最も高くなっています。

「障がい福祉とは関係のないボランティア団体」の加入では、障がいの種別を問わず3%弱、また、加入希望では「療育手帳所持者」が15.5%と最も高くなっています。

「趣味が同じ人が集まるクラブやサークル」の加入では、「療育手帳所持者」が11.3%、また、加入希望では39.4%と最も高くなっています。

【問 34】（単数回答）

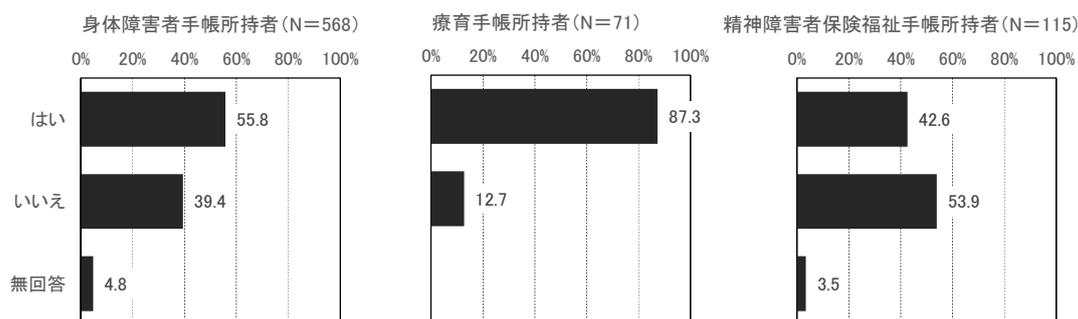


8. 災害への備えについて

(1) あなたは、災害発生時に避難の手助けが必要ですか。

災害発生時に避難の手助けが必要かについて、身体障害者手帳所持者では、「はい」が55.8%、「いいえ」が39.4%となっています。療育手帳所持者では、「はい」が87.3%、「いいえ」が12.7%となっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「はい」が42.6%、「いいえ」が53.9%となっています。

【問35】(単数回答)



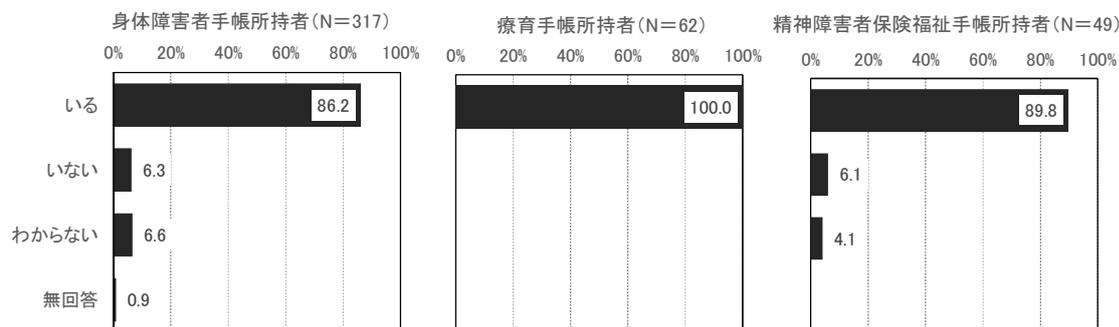
(2) 避難を手助けしてくれる人はいますか。それはどなたですか。

※問35で「はい」と答えた方のみへの質問

①手助けしてくれる人はいますか

避難を手助けしてくれる人はいるかについて、障がいの種別を問わず、「いる」が最も高く、身体障害者手帳所持者は86.2%、療育手帳所持者は100.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者は89.8%となっています。

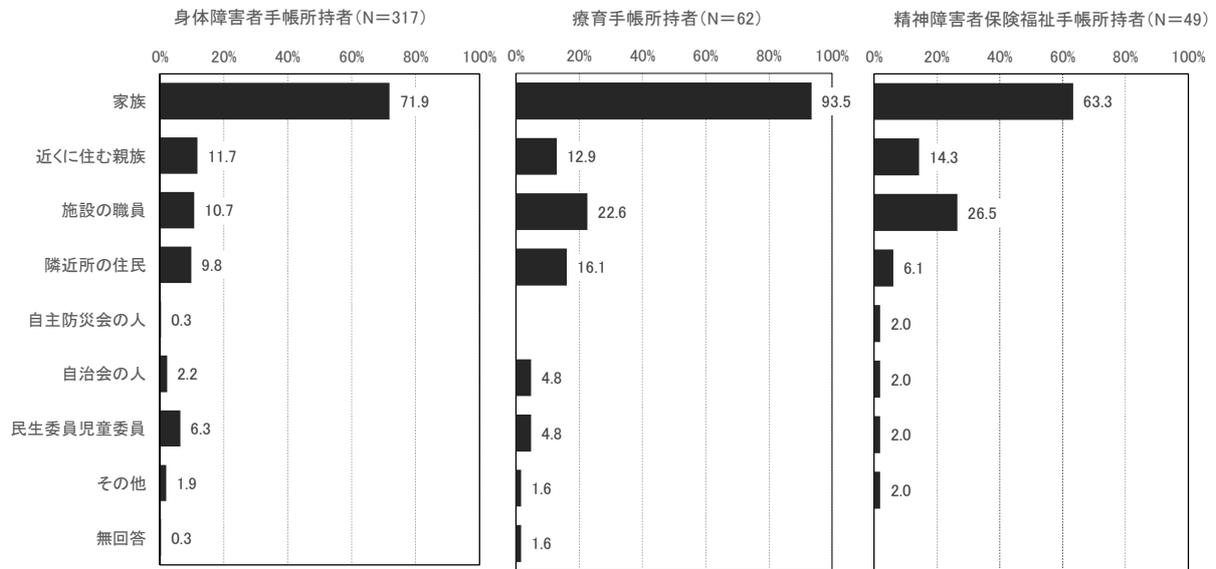
【問36-①】(単数回答)



②手助けしてくれる人はどなたですか

避難を手助けしてくれる人は誰かについて、障がいの種別を問わず、「家族」が最も高く、身体障害者手帳所持者は71.9%、療育手帳所持者は93.5%、精神障害者保健福祉手帳所持者は63.3%となっています。

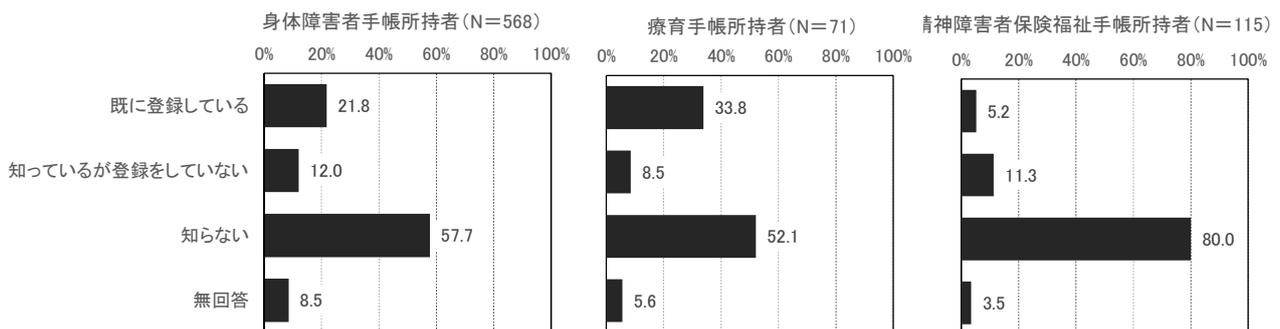
【問 36-②】（複数回答）



(3) あなたは、「避難行動要支援者登録」を知っていますか。

「避難行動要支援者登録」を知っているかについて、障がいの種別を問わず「知らない」が最も高く、5割以上となっています。

【問 38】（単数回答）

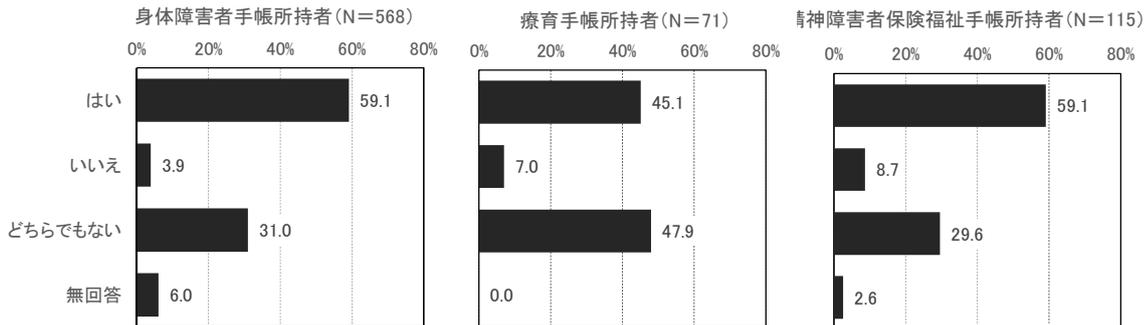


9. 長久手市の障がい者施策について

(1) 長久手市は、あなたにとって暮らしやすいまちですか。

長久手市は暮らしやすいかについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「はい」がともに59.1%と最も高く、療育手帳所持者では「どちらでもない」が47.9%と最も高くなっています。

【問 39】（単数回答）



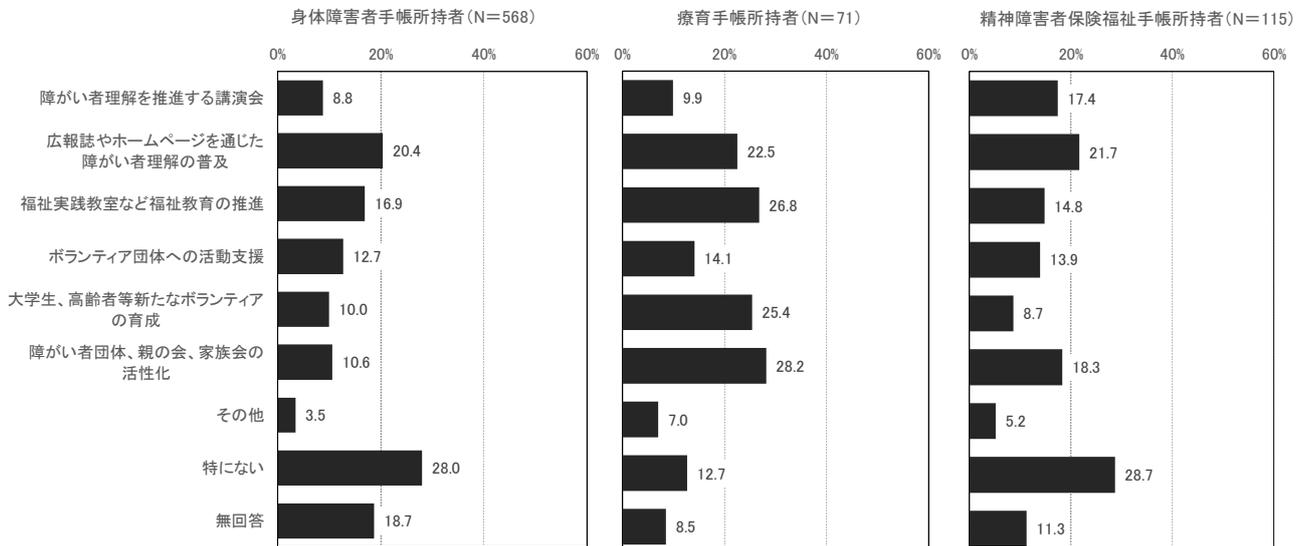
(2) 障がい者啓発事業の中で、あなたが重要と考えるものは何ですか。

(○は2つまで)

障がい者啓発事業の中で、重要なものについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「特になし」が28.0%、28.7%と最も高く、療育手帳所持者では「障がい者団体、親の会、家族会の活性化」が28.2%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者では「広報誌やホームページを通じた障がい者理解の普及」「福祉実践教室など福祉教育の推進」、療育手帳所持者では「福祉実践教室など福祉教育の推進」「大学生、高齢者等新たなボランティアの育成」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「広報誌やホームページを通じた障がい者理解の普及」「障がい者団体、親の会、家族会の活性化」となっています。

【問 41】（複数回答）



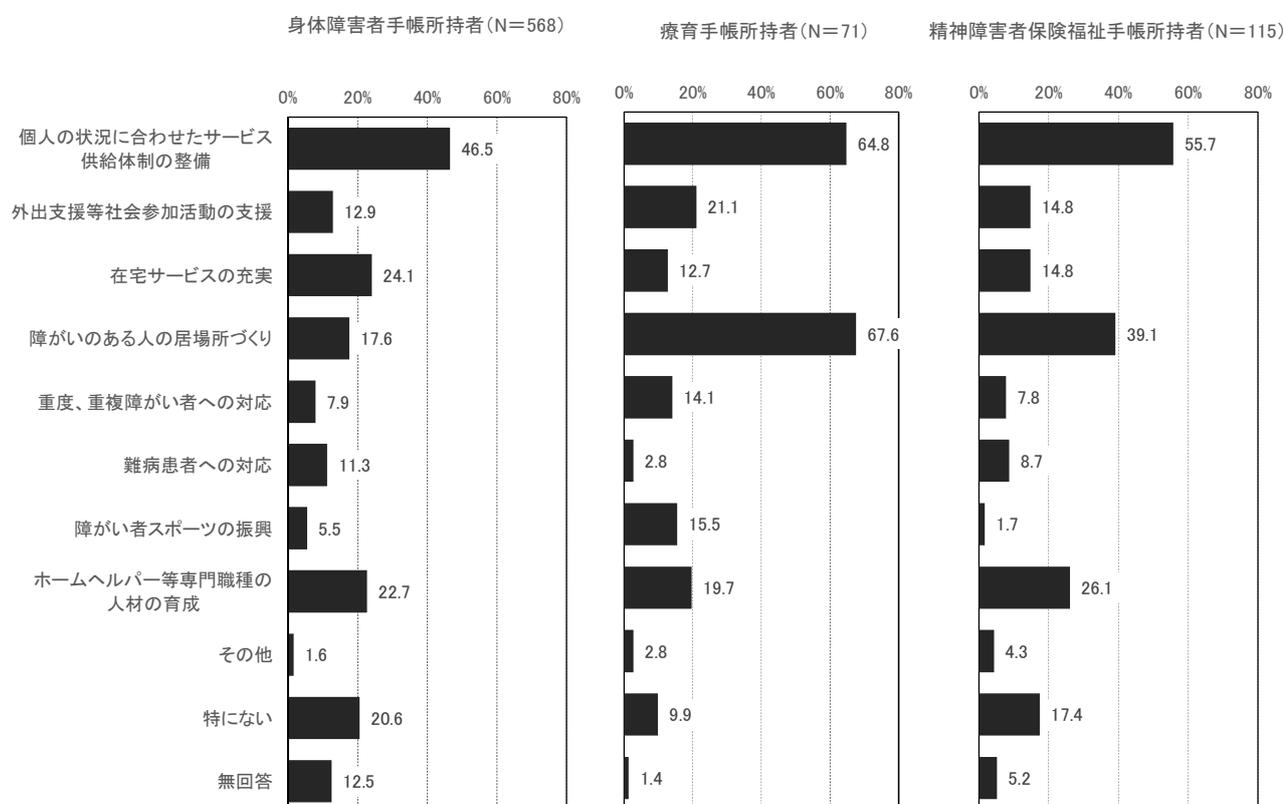
(3) 障がい者の生活支援についてあなたが必要と考えるものは何ですか。

(○は3つまで)

障がい者の生活支援について必要なものについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「個人の状況に合わせたサービス供給体制の整備」が46.5%、55.7%と最も高く、療育手帳所持者では「障がいのある人の居場所づくり」が67.6%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者では「在宅サービスの充実」が24.1%、療育手帳所持者では「個人の状況に合わせたサービス供給体制の整備」が64.8%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「障がいのある人の居場所づくり」が39.1%となっています。

【問 42】（複数回答）



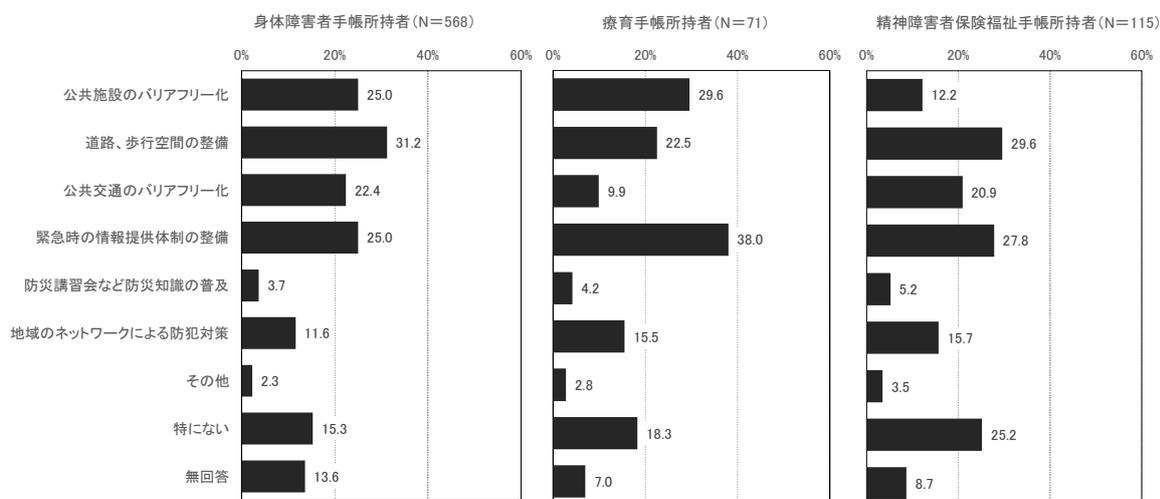
(4) 生活環境整備についてあなたが必要と考えるものは何ですか。

(○は2つまで)

生活環境整備について必要なものについて、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「道路、歩行空間の整備」が31.2%、29.6%と最も高く、療育手帳所持者では「緊急時の情報提供体制の整備」が38.0%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者では「公共施設のバリアフリー化」「緊急時の情報提供体制の整備」がともに25.0%、療育手帳所持者では「公共施設のバリアフリー化」が29.6%、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「緊急時の情報提供体制の整備」が27.8%となっています。

【問 43】（複数回答）

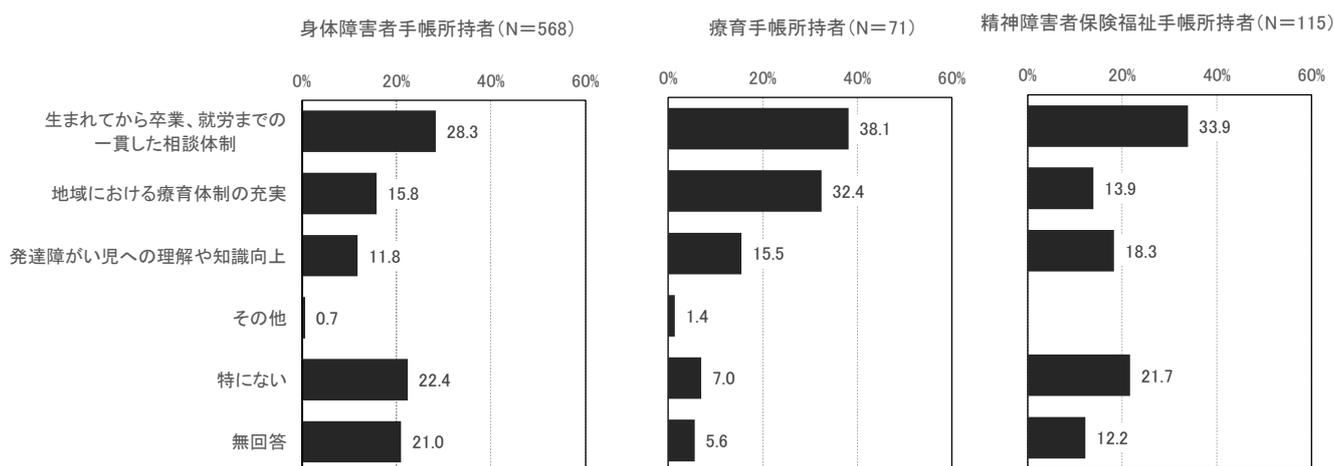


(5) 障がい児教育、障がい児育成についてあなたが重要と考えるのものは何ですか。

障がい児教育、障がい児育成に重要なことについて、障がいの種別を問わず「生まれてから卒業、就労までの一貫した相談体制」が28.3%、38.1%、33.9%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「特にない」が22.4%、21.7%、療育手帳所持者では「地域における療育体制の充実」が32.4%となっています。

【問44】(単数回答)

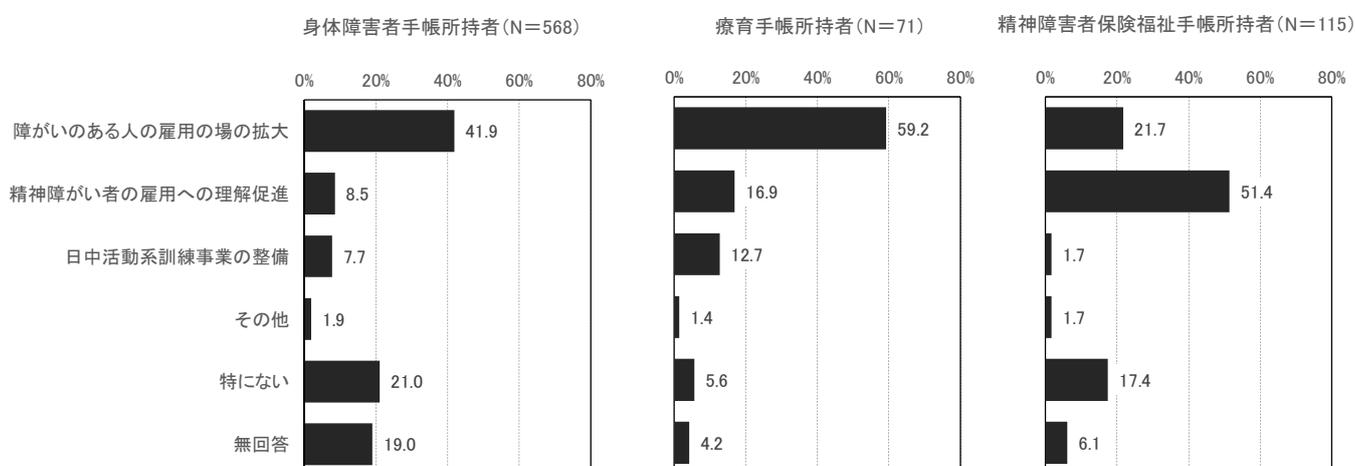


(6) 障がい者の雇用や就業の促進にあなたが重要と考えるのものは何ですか。

障がい者の雇用や就業の促進に重要なことについて、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「障がいのある人の雇用の場の拡大」が41.9%、59.2%と最も高く、精神障害者保健福祉手帳所持者では「精神障がい者の雇用への理解促進」が51.4%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者では「特にない」が21.0%、療育手帳所持者では「精神障がい者の雇用への理解促進」が16.9%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「障がいのある人の雇用の場の拡大」が21.7%となっています。

【問45】(単数回答)

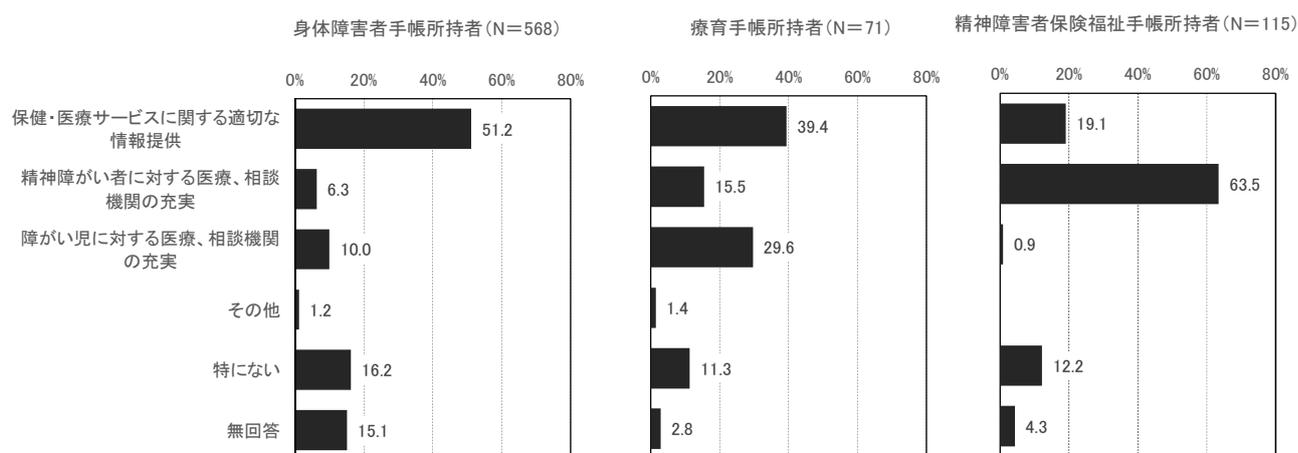


(7) 保健・医療に関してあなたが重要と考えるのは何ですか。

保健・医療に関して重要なことについて、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「保健・医療サービスに関する適切な情報提供」が51.2%、39.4%と最も高く、精神障害者保健福祉手帳所持者では「精神障がい者に対する医療、相談機関の充実」が63.5%と最も高くなっています。

次いで、身体障害者手帳所持者では「特にない」が16.2%、療育手帳所持者では「障がい児に対する医療、相談機関の充実」が29.6%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「保健・医療サービスに関する適切な情報提供」が19.1%となっています。

【問 46】（単数回答）



(8) 情報・コミュニケーションの充実に関してあなたが重要と考えるのは何ですか。

情報・コミュニケーションの充実に関して重要なことについて、障がいの種別を問わず「特にない」が31.4%、26.7%、38.2%と最も高くなっています。

次いで、障がいの種別を問わず「文字の音声化など障がいのある人に配慮した情報の提供」が21.7%、25.4%、20.9%となっています。

【問 47】（単数回答）

